

開港

那人二萬六千あり。

其他は同島のスーラビヤ(人口十二萬餘)、ボルネオ島のボンテ

輸出入

アチック、等こす。諸島の輸出品は、砂糖、珈琲、茶、藍、煙草、錫、米、等なり。輸入品は、食品、石油、絲、鐵、金屬器、等なり。

管轄

此諸島の中、ボルネオの三分二、ニューギニーの西部(東北部は獨逸領なり)、及其他の島々は、大抵和蘭國の領地にして、バタヴィア府に其政廳あり。長官は、總督と稱し、海陸軍をも統轄せり。

濠太利亞細亞群島

第八地圖參照

位置

位置、面積

濠太利亞細亞群島とは、濠太利亞、タスマニア、ニュージラランド三島の總稱なり。然れども、濠太利亞島は大にして、東西二千五百哩、南北二千哩あり、或は一大洲と看做すべきものなれば、他の二島は、之を其屬島と稱するも可なり。此群島の面積、總計凡三百萬方哩にして、人口凡四百二十萬あり。

位置、面積

第一濠太利亞

濠太利亞は、其大さ歐羅巴の五分四に近し。南部は、日本の九

北岸

州、四國本土と其緯度(南半球)を同ふし、又其中央を過ぐる經度線は、東經百三十五度線にして、我國の神戸、大阪邊の正南に當れり。全地を、クインスランド、ニューサウス・ウールズ、ゾクトリア、南濠太利亞、西濠太利亞の五部に分つ。

南岸

沿海 海岸の出入、極めて少し。北岸の灣は、カルメンテリアと稱し、東にヨルク半島あり、ニューギニー島との間をアラーフラ海とし、トールス海峽に木曜島あり、蝶貝、眞珠を産し、本邦人の在留者多し。南海の西部の沿岸一千二百哩の間、河口一

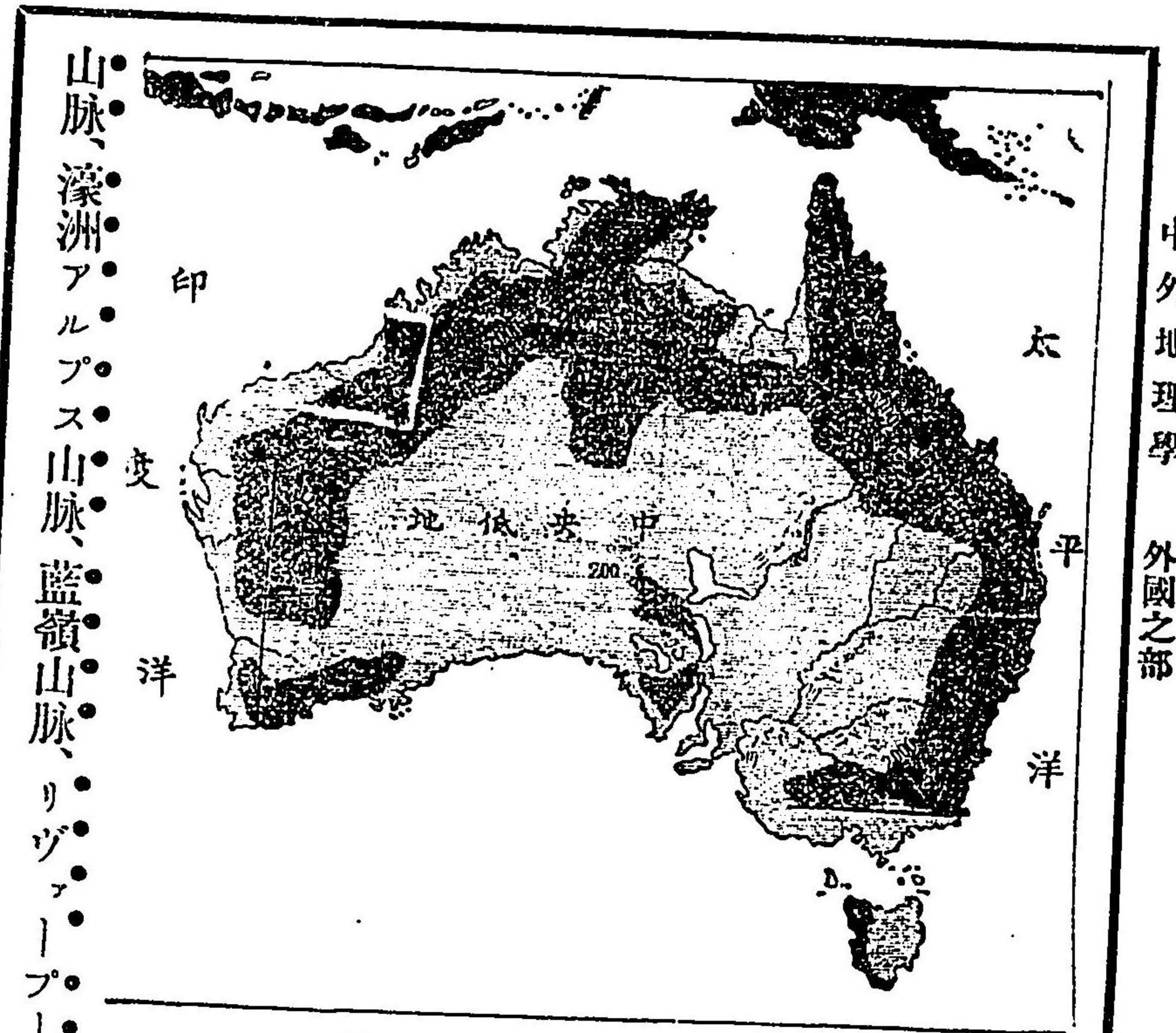
東岸

もこれなし、それは海岸高ければなり。ボルトファリア灣内に、著名なるメルボーン港あり。南の島は、タスマニアにして、其間にバス海峽あり。東海岸は、山脉を負ひ、斷崖多く、殊に其北部は、大珊瑚礁あり、故に、ニューギニーとの間を、珊瑚海と名く、東岸の名ある港灣は、シドニー港、モールトン灣のブリスベーン港、ヘルレー灣、等こす。

地貌

地貌 内地の地勢は恰も砂岩の大皿に似て、周邊高く、内部窪み、灌水は多く、淺湖に集り、其湖は口なくして鹹水なり、南海岸の一千二百哩間に、一の河口なきは、是れ

山脉



原平及脉山の洲大亞利太濠
(1000を高さの数字は省略)

が爲めなり、然れども、其他の處に於ては、其周邊の隆起帶、或は海岸より五十哩、若くは二百哩の内地にあるを以て、河流の海に注ぐものなきに非らず。此の如く、本洲の地形、皿の如くなれども、其地體は、概して低からず、一大高原を成し、草原、沙漠相連り其五分の四は、無益の荒地なり云ふ。

東西の兩岸に山脉あり。東岸の山脉は、濠洲グラムピアンス連山、等到處に其名を異にし、其

河

中の高山は、ヴィクトリアのホットハム山、ニューサウスウェルスのコッシアスコにして、大抵日本の陸奥山脉の高さなり、然れども或は四時雪を戴き、且つ氷河あるものあり。西岸の山脉は、甚だ低くして、高さ一、二千呎に過ぎず。

河湖 東岸山脉の西側に流る、ムルレー河は、本洲の最大河にして、長さ一千百哩あり。然れども、惜かな、其河水は南岸の淺湖アレキサンドリナに注ぐが故、適當の海口なし。支流の大なるは、ダーリング河也。本洲は、旱魃甚しく、河水涸れて、運漕に不便なれども、東北の氣候風を受くる、カルメンテリア灣に注ぐ河々は、東岸の川よりも大にして、且つ多し。其重なるを、アルペアート、プリンデルス、ミッテルグレイ

ふ。西北岸のヴィクトリア川は、河床深く、河口大にして、大船を容るべし。湖の大なるは、南濠洲のアイル湖(ディーアマンティナ、バルクー)の兩大河之に入る、トレンス湖、ゲイルドナー湖、アマデューズ湖等なり。本洲の短所は、河湖乏しくして、内地の交通に不便なることこれなり。



ツツカア
 カリブスガ
 一ツツスラカ
 スズナリカール
 ステムガ
 物 種 記 利 本 漆

氣候

氣候 本島は、土地大なれども、各地の氣候の差甚しからず、但し雨量は海岸と内地とにより、大に多少あり。ニューサウスウェルスの海岸シドニー府は、溫度、我九州島の南部と粗、同様なり、然れども、内地に入れば、炎暑甚し、又雨量は、東北部より、東岸及東南海岸に多く、内地は度々旱魃あり。要するに東部と東南部は、氣候人身に適せり。

植物

生物 森林植物は主として、常緑樹にして、木葉密ならず、又樹木密叢せず。護謨樹、金合歡、その他巨大の草本は、此の地固有の植物にして、護謨樹の如きは、高さ三百呎に達する者あり。菓實は多からず、原野の草は、毛氈の如く連續密生せず。

動物

動物も、植物の如く、一種奇怪なるものあり、カンガル（袋嚢獸）、ウナムバット（同上其狀狸に似たり）、ナルニツリンカス（形鴨の如し）は、最奇異なり。此他珍奇の禽獸少からず、又家畜類は歐洲より移殖したる者、能く蕃殖せり。

人民

人民 本洲の人口は、凡三百三十七萬あり、其過半は歐洲人の子孫にして、土人、即ち黒人は、五六萬に過ぎざるべし。土人は、頭髮薄くして長く、四肢細長く、容貌獐



鳥類
 スクツリキアア 鳥類 鳥類
 トーカアツバ
 トーバアイラ ールカツカ ナドキエ 大野 ヨミエ 野鳥類
 トツラールカツカ
 スカンツリニルオ 鳥類
 物 動 亞 利 太 洋

悪なり。性愚にして、文明の事業に適せず、故に遂には其種族滅するに至るべし。往時は、支那人多かりしが、歐洲人之を厭ひ、移住支那人に重税を課してより、漸く減少し、今は僅に三萬人許なりといふ。

都府 今著名の都府を記するに當り、併せて各部の事をも記載すべし。

都府 クインスランドの東部は、高原にして、綠草茂り、牧場に適せり。人口四十六萬餘あり、日本人の此に在留する者殆九百人とす。首府ブリスベーンは、ブリスベーン河の河口を距つると二十五哩にあり、人口四萬八千餘なり。

都府 ニューサウスウェルズは、ムルレー河の水域にして、最良の牧場、相連なり、又煤田多し、人口百二十七萬あり、日本人二十九人在留す。首府シドニーは、本洲最舊の都府にして、氣候溫和、最も天惠ある都府の一に算ふべし、人口四十萬八千あり、貿易盛なり。

都府 ヴィクトリアは、面積八萬七千餘方哩にして、本洲の最小殖民地なり、然れども、人口は百十八萬餘ありて、第一に位せり。是れ、山岳多くして、雨量多く、氣候よきのみ

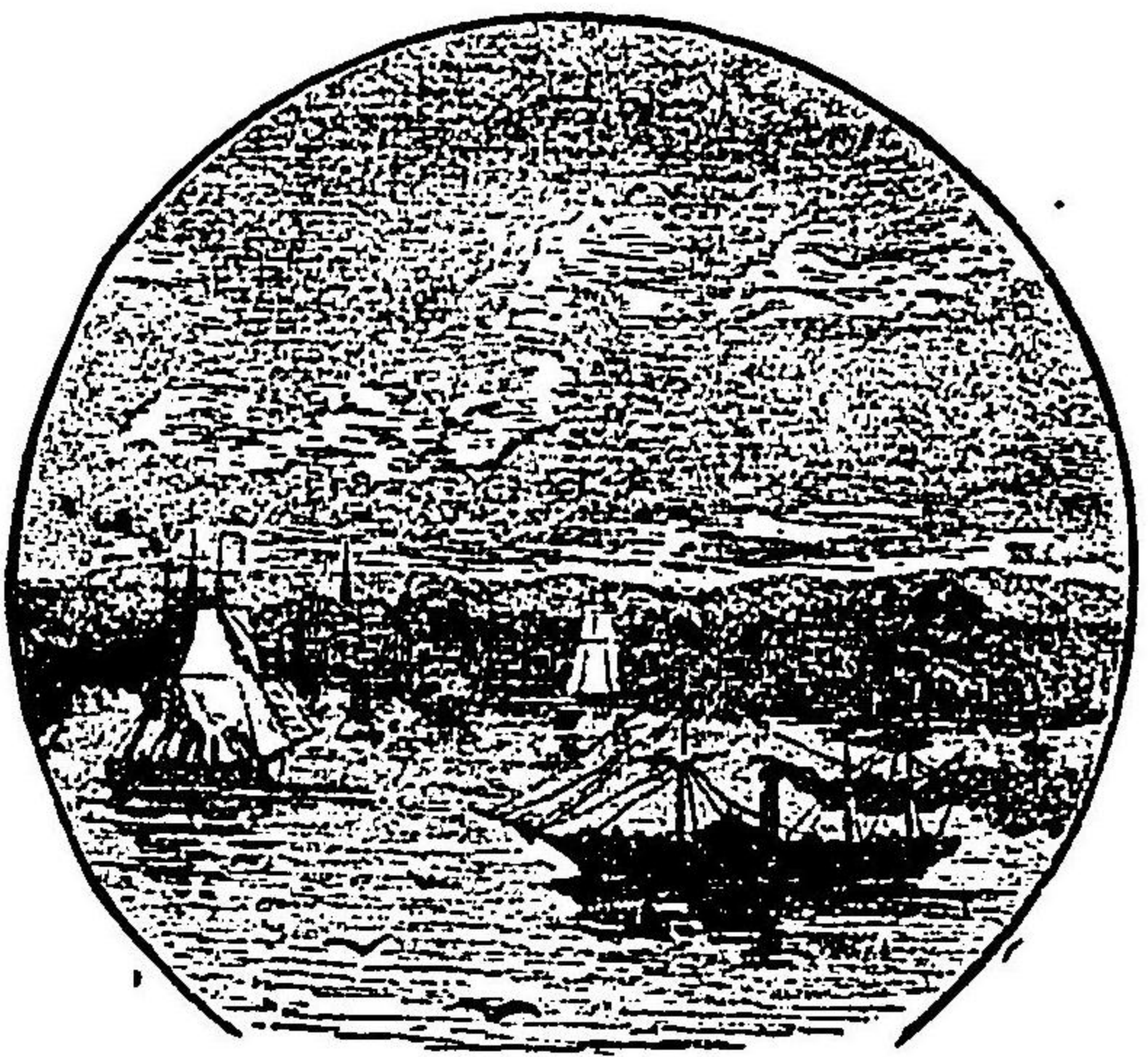
ならず、金鑛に富むと、非常なるが故にして、其繁昌他の州に優れり。南岸のメルボ
 ーン府は、首都にして、四方船舶の出入織るが如く、通商盛なり。人口四十四萬七千
 を有し、本洲中最大の都府なり、又南半球中之
 に勝るの都府なし。日本人の、此に在留する
 者數十人ありといふ。

アッ
レド
府

南濠太利亞は、地境廣大なれども、内部は、大
 抵荒地にして、人口三十五萬餘なり。首府
 デレドは、人口十四萬あり。

バル
ス
府

西濠太利亞は、面積百六萬五千方哩にして、
 人口は僅に十萬餘なり。人民の住居する地
 方は、西南隅にして、首府バルスも、亦此に在



シドニ港

農産

り。首府の人口は、一萬九千餘あり。北部の山地には耕地及牧場に適する地あり。
 産物 (農産) 農業、牧畜は本洲の東海岸に多く、主なる農産物は、穀物、砂糖、煙草、綿、

畜産

藍茶(ニューサウスウェルス地方)にして、種々の菓實も産出す、地價、甚廉にして、勞
 力高價なるが故、耕作には多く器械を使用す。

(畜産) 本洲の最も重要な生業は、牧羊なり。歐洲に輸入する羊毛の三分二は、本
 洲の産にして、シドニー、メルボーンの兩府は、世界の羊毛の大市場なり。牧羊家は、往
 往壹人にて五十萬頭を所有するものあり其他、牛、馬も少からず。又(漁業) 北海岸の
 漁獵、及西海の眞珠も利益あり。眞珠採りの爲め日本人の出稼者甚多しと云ふ。(鑛
 産) 本洲は鑛物に富み、一切の鑛物、殆んど皆備はれり。殊に黄金は、産額最も多くし
 て、世界中第二位を占め、或は時々數萬圓の金塊を掘りたるもあり、爲めに、歐洲の移
 住者を誘引したり。ヴィクトリア、クィーンズランドは、金産地なり。此他産出多
 きは、石炭、銀、鐵、錫、銅、アンチモニー、等なり。

鑛産

工産

(工産) 製造の原料豊なるを以て、器械、蠟燭、石鹼、毛布、砂糖、製皮、鋸木、醸造、蒸溜
 等の製造盛なり。又シドニー府は、造船を以て其名高し。

交通

交通、貿易 本洲は、内地未だ開けざるを以て、交通、商業は、大抵海岸に限れり。

國內に數條の良路あり。ムルレー河の外、航船の利あるもの少なし。鐵道は、大都府の間を連絡し、殊にメルボーンと、シドニー間を主要の本線とし、之より各地の鑛山、牧場等に通ずる支線多く、其長さ既に一萬二千哩の上に出たり。電線は、國內は勿論、亞細亞と歐羅巴に達する海底線あり。

貿易

外國貿易は、多く、原料の輸出にあり。世界中最も良港の名ある、シドニー、メルボーンは、商賈交通、甚だ盛にして、世界各國と通商す。輸出品は、羊毛、黄金、穀物、牛、蠟燭等を重なる者とし、輸入品は、砂糖、茶、珈琲、煙草、雜貨、織物等なり。日本へは、羊毛、鉛等を輸出し、日本よりは、米、竹器、絹布等を輸入せり。

政治

前に記したる、五個の殖民地は、各獨立して、國會を設け、各國會は上下兩院より成る。政府の長官は、英吉利帝の任命したる太守なり。次に記する、タスマニア、及ニュージールランドも、亦英吉利の領地にして、大守之を管治す。

タスマニア
地貌

第一タスマニアは、一名ヴァンデールメンランドと云ふ、濠洲と幅百二十哩の海峡を隔つ。附近の諸島を合せて、面積二萬六千二百方哩、人口凡十六萬あり。之

を濠洲に比すれば、海岸は岩多く、内地は山多く、河は水多く、又森林は、深くして、雨量多く、氣候亦稍、人身に適せり、生物は濠洲と同じ。

島中一の窪地帯あり、全島を南北に貫く、兩河此を南北に流る。首府ホーバルトは、南海岸に在り、鐵路ありて北海岸に通せり。穀物、馬鈴薯、菓實、煙草、羊、錫、石炭、鐵、黄金等の産物あり。貿易亦盛なり。

ニュー
ジール
ランド

第三ニュージールランドは、濠洲の東南一千二百哩に位し、二大島と一小島あり。大島は、北島、南島と名く、面積は、十萬四千四百餘方哩、人口七十萬餘あり。土人は、身丈、容貌、共に歐洲人と大差なく、勇氣あり、又多くは開明進歩せり。

地貌

南島は稍、大にして、山亦高く、其の最高峯は、一萬二千三百餘呎あり。然れども、河の最も長きは、北島にあり、運輸灌漑の利あり。島中火山あり。氣候は、最も健康に適す。

都府

都府は、北島のオークランド(人口五萬七千)、首府ウェリントン(二萬七千八百)等にして、船舶の出入多く、又鯨獵船の碇泊所たり。農作漸く進歩し、穀類、麻、材木(松類)

産物

の生産少なからず。生業の最も重要なものは、畜産にして羊、牛、馬の蕃殖盛なり。鑛物は、黄金、石炭、石油、等あり。

交通

内地の交通には、二千餘哩の鐵道あり、又電信、郵便、汽船、等の交通具、よく備はれり。重なる輸出品は、羊毛、皮、蠟、材木、穀物、黄金、凍肉、麻、護謨、にして、輸入品は、酒類、農具、衣類、等の製造品なり。

貿易

ポリネシア群島

第一地圖等参照

位置

位置、等

ポリネシアは、衆島の謂にして、大太平洋中に散布する諸島の中、上に掲げざる群島の總稱なり。其位置は、赤道の南北各三十緯度の内にあり。其面積、合計凡そ六萬方哩にして、人口凡そ百五十萬あり、重なる島嶼は、左の如し。

重要な諸島

- 一 マリーアナ諸島、一名ラードコンス諸島(西)
- 一 カールリン諸島
- 一 ビスマルク諸島(獨) (ビスマルク諸島とは、舊ニューブリテン、ニューアイランド、アドミラルティ、等の新名なり)
- 一 マルシャル諸島(獨)
- 一 ニューカレドニア(佛)
- 一 ニューヘブライデス諸島
- 一 フレンドリー、一名トンガ諸島
- 一 サモア諸島
- 一 ソサイティ諸島(佛)
- 一 サンドウツチ諸島

島嶼の種類

地貌、等

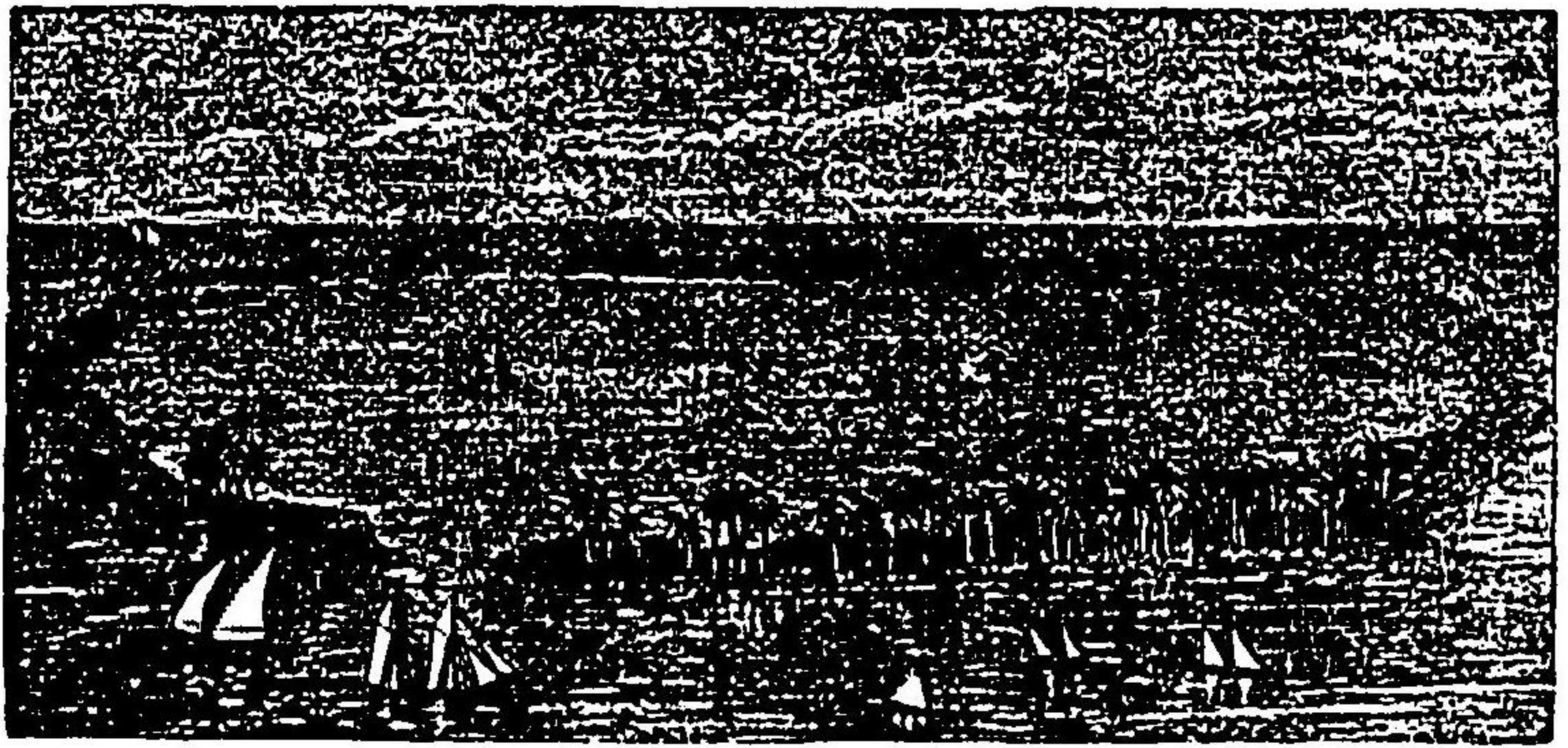
或國の屬領たる島嶼の下には、其國名の頭字を記して、獨立島と區別す。

ポリネシア群島は、二種に區別すべし、一を火山島とし、一を珊瑚島とす。マリーアナ、ソロモン、ヘブライデス、フーデー、サンドウツチ等の諸島は、概火山島にして、噴火の爲めに、海上に現出せし島々なり。其他の島嶼は、珊瑚島にして、珊瑚蟲の作用にて、成りたるものなり。勿論珊瑚島にして、舊時の火山岩の遺存するものあり、又火山島にして、其周圍に、多少珊瑚礁の附着するものあり。火山島は、大抵大にして、地躰高く、圓錐狀の山あり、景色畫くが如し。ニューカレドニア島の山は、八千呎、フーデー島の山は、六千呎、サンドウツチ島の山は、一萬三

火山島の地貌

火山脈

珊瑚島の地貌



珊瑚島の地貌

千九百餘呎に達せり。又マリーアナ、等の諸島には、火山の噴烟するものあり。我國の所謂富士帶火山脈は、此等の火山島と連絡するものなり。又地震の起るる數、なり。火山諸島は、概して地味甚肥へ、氣候熱く濕氣多し。去れば植物能く繁茂し、海濱より山嶺に至るまで、綠葉を以て蔽へり。

珊瑚島は、分ちて、二種となす、一は地軀の高きもの、一は環島と稱し、其形も環の如くして、中に水を湛へ、地軀の甚低きもの是れなり。一は高珊瑚島、一は低珊瑚島と名づくべし。低珊瑚島は、其幅通例狭く、二、三間、乃至五六町にして其環地帯の小なる者は、全く閉ちて、周圍の海と隔り、池水の鹹味を帯びざるものあり、大なる者は環地帯の長さ、數哩のものあり。珊瑚島の沿海は、航海危險

火山島

と珊瑚島の比較

氣候

産物

人民

なり。

珊瑚島は、火山島に比すれば、地軀低くして山少なく、地味較劣等にして、水濕も少く、隨て樹木多からず、住々旱魃の患あり。

氣候、産物 諸島の散布する區域、甚た大なるを以て、氣候の異なると勿論なれども、大抵寒暑共に甚しからず、日本の春秋の如く、氣候溫和なり、是れ、海水の近きに由るなり。然れども、フーデー島の以東は、其以西よりも、氣候遙によるし。西部の諸島は、熱病、瘧疾流行すること多く、南部の諸島は、暴風の起ると少からず。諸島は、概して、植物乏しからず、其重なるは、麵包菓、大薯、甘薯、葛粉、甘蔗、椰子なり、殊に麵包菓は、土人の常食にして、終歲實を結ぶ、此他、珈琲、砂糖、綿、米、及菓實類少からず。

人民 ポリネシア諸島の大半に住居する土人は、面色褐色にして、馬來人種に屬する者多し。其操舟に熟練し、且つ冒險を好むと甚たしく、又性質鋭敏にして、高等の開化に達するを得べしと雖、白人と交際してより、人口頗に減少せり。土人は、大半

基督教を奉し、西洋の衣服を喜び、又其風俗に倣ひ、近頃は文身の如き弊風、漸く消滅せん。

重要の諸島

重要の諸島

方、凡五百哩に在り。島數凡二千個あり。地味よろしく、樹木繁茂す。

ニューカレドニア島

中山多く、高山は五千三百八十呎に達す。ニッケル鑛を以て著名なり。近年我國民

の、本島に出稼するもの少からず。住民凡六萬あり。

フィジー諸島

面積凡七千七百餘方哩、人口凡二十萬あり。

サンドウイッチ諸島

は最も大にして著名の活火山あり、高さ一萬四千呎なり。其他の島々も、大抵山多く、

地味肥へ、氣候溫和にして、甘蔗、米、煙草、椰子、綿、珈琲、橙、等の産物あり。全諸島の面積は、六千六百四十方哩、人口は凡八萬九千人、諸外國人の移住、或は出稼するもの

ホノルル府

多し、其中土人は四萬許り、他は日本人（二萬二千餘人）、支那人（一萬八千人）最も多し。

首府ホノルルは、ウヰーラー島にあり、港内水深く、大船を入るべし、濠洲と北亞米利加間の航路に當れり、又北太平洋の鯨獵船の碇泊所として著名なり。

サンドウイッチ諸島は、亞米利加合衆國の傳教師等の教化に由りて、人民大抵基督教を奉ずるに至り、遂に布哇王國を建て、又憲法を定め、千八百九十三年（明治廿六年）三月に至るまで、獨立の立君政治國なりしが、同月俄に革命を行ひ、君主を廢し、今は共和政體を建てたり。

第五編 北亞米利加洲誌

第一章 發端

第十地圖參照

廣袤

廣袤 北亞米利加洲は、粗三角形にして、南亞米利加洲と接續せり。南北の長凡五千哩、東西の幅平均二千哩あり。面積は、近傍の諸島を合せて、凡八百七十萬方哩にして、亞細亞洲の二分一に足らず。

沿海

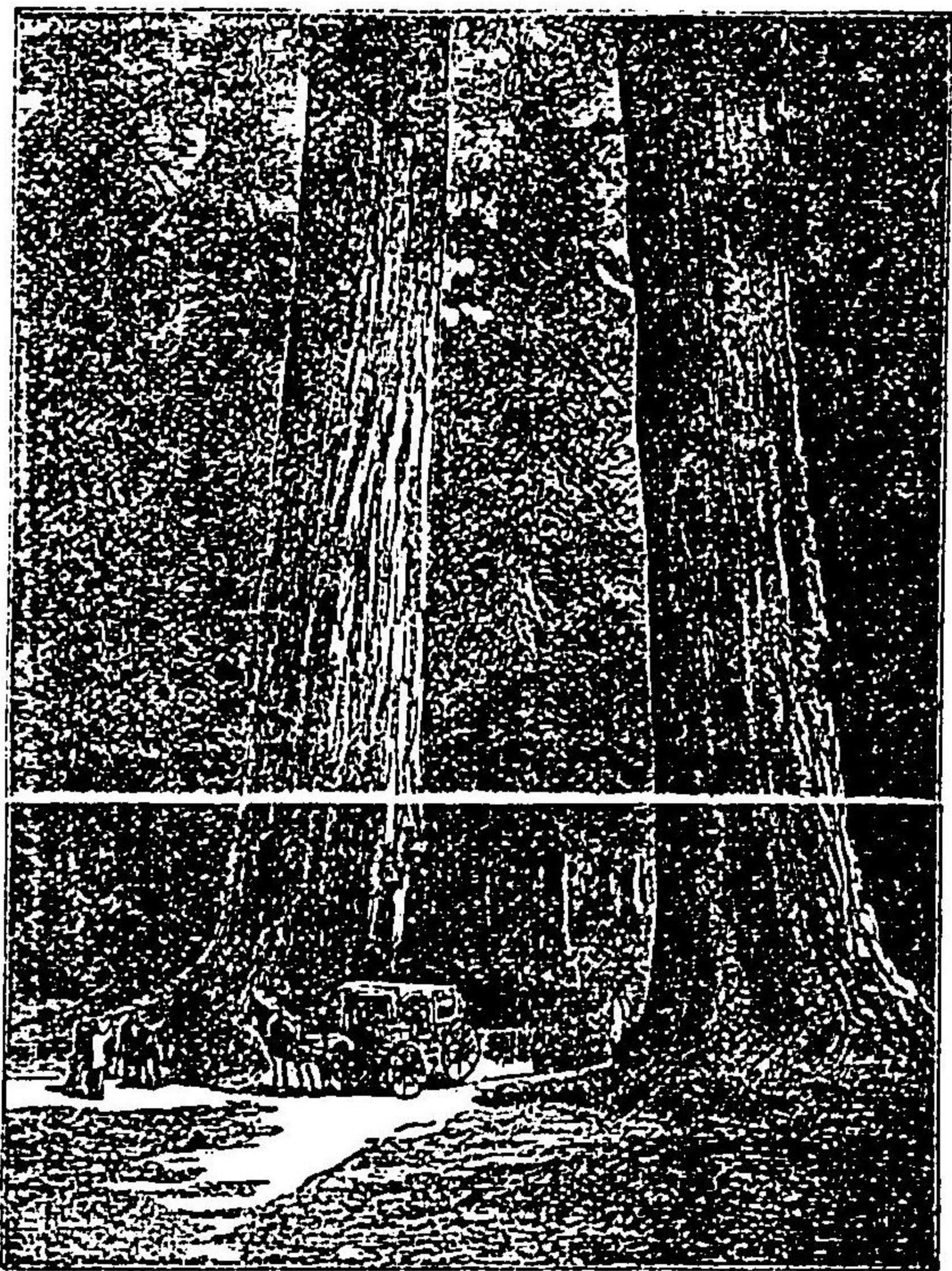
沿海 今我國と相對する本洲の西岸の諸島、海灣より、次第に東岸の事に説き及ぶべし。

西海岸

西海岸 西北の隅にアラスカ大半島あり、ベーリング海峡を隔て、亞細亞と對す。此半島の西南の端より一列の群島、東塞加半島の方に向て並列せり、之をアリュシャン群島と稱す、我千島列島と距つると遠からず。以南の海岸は、屈曲稀にして、島も少し。ヴァンクヱー島、サンフランシスコ港は、近頃名高き地となれり。

東南海岸

其れより、カリフォルニア半島と、これと同名の灣あり。東南海岸 カリビアン海は、度々烈風の起るここあり。



樹大アニルナフリカ

少からず、チエサピック灣、ノーヴァスコシア半島、セントローレンス灣は、大なり。本洲の繁昌なる市邑は、大抵此海岸にあり。

の二灣あり。北の群島は、西印度諸島と稱す、其中最も大なるキューバの西北に、墨西哥灣あり。其南に東に、ニューカタン、フロリダの兩半島突き出す。フロリダ半島の南端セーブル岬より、東北ニ、ノースウインドランド島までは、小彎曲

東北岸

東北海灣

ニューファウンドランド島より西北の方、ハドソン水道を入れば、ハドソン大灣にして、其長さ南北一千哩あり。其北に、バフィン等多くの島あり。之を北極群島と總稱す、年中九ヶ月は氷にて閉され、植物は矮草、灌木、蘚苔の類のみ、動物は、鯨、海豹、海狗、海鷗、馴鹿、白熊の氷海に出没するのみ、デヴィス海峽とバフィン灣を隔て、グリーンランド島あり、極寒の地にして、人跡甚稀なり。

國別

本洲の北部は、概して英吉利領にして、之を加奈太領等とし、中部は、合衆國、墨西哥の兩國之を占め、南に數個の小邦あり。

第二章 北亞米利加列國誌

グリーンランド

位置

グリーンランドの内地は、山甚た多く、又氷原あり。此陸地は一大島なるや、又は氷にて綴りたる島嶼なるや、未だ判然たらず。氣候極めて寒むく、樹木を生ぜ

海濱

す。南の海岸は、夏は數十日、氷雪の解くるとあり、西岸は、寒氣稍弱くして、數個の殖民地あり。住民凡一萬人、其大半は、エスキモ種族なり。住民の生業は、海豹獵と漁業にして、鯨油、毛皮等を輸出す。此地は丁抹國の所領なり。

加奈陀

第十地圖参照

位置

位置、地勢、等 加奈陀領は、面積凡三百三十萬方哩にして、大略歐羅巴大洲に等し。人口四百八十三萬あり。太平洋に偏して、ロッキーマン山系あり、其最高山は、

地勢

西北邊のエリアス山にして、一萬八千呎なり。ロッキーマン山の東は、大平原にして、中にハドソン灣と多くの河湖あり、東はラブレールド高原に界す、處々に湖あり、殊に南部の諸大湖は、一半は加奈陀に、一半は合衆國に屬し、交通の便利極めて大なり。太平洋に注ぐ、フレセル河は、河床深く北に流るるマッケンジー河とサスカチワン河は、共に實用に適せず。最も有益なるは、セントローレンス河にして、春風氷を融けば、遠く汽船を内地の大湖に通すべし。

河湖

屬島

西の、ヴァンクヱー島は、樹木繁り、氣候寒むく、濕氣多し、著名の新開港ヴァンクヱー此に在り、(橫濱より航程四千三百二十哩)。

氣候

全國の氣候は、概ね乾燥にして、冬は河渠全く氷ほり、沿岸二三の港灣の外は、交通を斷つに至る、但西の海岸は黒潮暖流あるにより、寒氣稍、弱し。

人民

人民、都府 人口の密なるは、東部の地方なり、住民は、白人と土人(インディアアン)にして、北部の海濱には、エスキモー人あり、基督教、最も盛に行はれ、大學と多くの高等學校有り。

市邑

首府 ヲタワは、人口四萬四千餘あり、國內第一の商業府は、モントリオールにして、人口二十萬あり、最も舊き都府なり、ヴァンクヱー港は、加奈陀太平洋鐵道の開通と共に、俄に繁昌し、今は人口一萬三千餘あり、日本人の在留者、此の地方に凡三百人あり、我國の領



人モキスエ

産物

事此に駐在す。

産物 (農産) 西北の原野も次第に開墾し、地味頗る肥へたり。(畜産) 牧畜は農業と共に進歩し、牛、馬、羊最も多し。又野獸の毛皮は重要な輸出品なり。(水産) 河海の水産物饒なると、歐洲諸國に優れり。(鑛産) 石炭は、東海岸と西のヴァンクヱー島に最も多し。其他、銅、錫、黄金、石油、等少なからず。(林産) 山林は、東西の兩側に茂り、樺、松、柏、樅、等の大木、甚だ多し。(工業) 天産甚だ豊なるを以て、工業の進歩速なり。磨粉所、鋸木所、及び器械、砂糖、柔皮、等の製造所、東南部に最も盛なり。

交通

交通、商業、等 太平洋と大西洋を接續せる鐵道あり、ヴァンクヱーより、モントリオールに達す、長さ殆ど三千哩、之を加奈陀太平洋鐵道と稱す。此線路開けてより、内地の開拓に便なるのみならず、日本より、合衆國の東岸、又は歐洲の北部に赴くものは、印度洋の熱帶地を経ずして、ヴァンクヱーに直航し、同處より此の鐵道に依るを得べし。又モントリオールは、鐵道の集合點にして、此より四方に分派する線路あり。

商業 政治

重要の輸入品は、毛布類、鐵類、製造品、等にして輸出品は、木材、小麥、毛皮、等とす。日本よりの輸入品は、米、茶、生絲、雜貨、等にして、其輸出は少し。加奈陀領には、英國の總督ありて、政務を行ひ、上下兩院あり。領内に陸海軍を備ふ。

ニューファウンドランド

位置 氣候 人民

ニューファウンドランド島は、面積四萬二千方哩あり。地勢、山多くして、氣候寒むく、海邊は、殊に霧深し、本島の富源は、主として漁獵に在り、殊に鱈は無盡藏にして、世界第一の稱あり。本島は、ラブレードル半島と共に、英國直轄の一殖民地にして、知事政務を執り、又議會あり。ラブレードルには、エスキモー人多く住居す、兩地の人口は、二十萬八千あり。

北米合衆國

第十地圖参照

位置

位置、面積

此國は、東西凡そ二千七百哩、南北凡そ千六百五十哩あり。其面積は、

面積

凡そ三百五十萬方哩にして、殆んど歐洲に等しく、我國の凡十四倍あり。全國は、四

區分

十五州より成り、之に加へて五地方あり。人口六千二百六十餘萬にして、一方哩に二十一一人五分の割合なり。

海岸



峡河ド-ラロコ

沿海 西の海岸は、嶮崖多く、水も深けれども、良灣佳港少し。西岸第一の要港は、サンフランシスコにして、日本其他東洋諸國よ

り來る、商船の大抵寄港する處なり。

東の海岸の北部は、斷崖多く水深き港灣あり。中部にチタニック灣あり。南部

地貌

にフローリダ半島斗出す。フローリダ半島を廻りて、墨西哥灣にミスシッピの河口あり、リナグランデの河口を以て、墨西哥と分界せり。

地貌 國の西部に、ロッキー山系連り、其西にシエラネバダ山脉等あり。此等の山脉は、ロッキー山の間は、大高原にして、氣候乾はき、地味あしけれども、鑛物多く、又大鹽湖あり。ロッキー山は西部の分水界にして、山東の水は、皆ミスシッピ河に入り、山西の水は、皆太平洋に注ぐ。西の重なる川はコロムビア河、コロラド河とす。此河々は、皆高原より流れ下り、急流となり、間々深さ四五千呎の河峽を作り、一奇觀なり。

ミスシッピ河谷

ミスシッピ河谷は、東西兩山脉の間にある、大平原にして、其面積は、合衆國全部の二分の一あり。處々に山丘あれども、大抵平野にして、墨西哥灣に向つて傾く。此を流るゝ、ミスシッピ河は、世界第一の長流にして、終に廣大の三角洲を造りて、海に注ぐ。其深さ百五十呎の所あり。支流はナハイナ、ミッソリー等あり。又西南の國境に沿ひて流るゝ河をリナグランデと云ふ。

氣候

此平野の東北に、五大湖あり、其中ミシガン湖は、國內に在り、其餘は半は加奈陀に屬せり。イーリ、ナンタリナ、二湖の間にある、ナイヤガラ瀑布は、世界第一の大瀑布(幅二千百呎、高百六十呎)なり。東邊のアレガニー山系(一名アパラシアン)には、石炭、鐵等多し。此山系の東の平原を流るる河は、長大ならざれども水運の便あり。

氣候 合衆國は、廣大なるを以て、各地寒暖の差甚し。西の海岸は、最も温暖にして、穀類、菓實好く熟す。墨西哥灣邊は、氣候熱く、濕氣深し。雨量は、東岸に最も多く、西に行くに従ひ減少す。ロッキー山の高原には、年中雨なき處あり。北部と西北部は、寒氣甚しく、降雪最も多く、二十呎に至るとあり。



洲角三河 - ビッピスミ

人民

人民 人民は、白人、黒人、及黃人（インディアン）にして、十分の八九は白人なり。歐洲より此地に移住する者、極めて多く、人口速に増加す。黒人は雜種を合せて、凡六百六十萬あり、嘗て亞弗利加より輸入せし、奴隸の子孫にして、今尙ほ南部に多し。インディアン人は、凡三十四萬あり、尙ほ固有の風俗、習慣あれども、人數次第に減少す。人口の最も稠密なるは、商工業の盛なる東部諸州にして、平均、每方哩二百、乃至二百三十人なり。南部と中央部は、農を主とし、人口尙ほ疎なり。西部は廣漠の原野多く、人口最も稀なり。言語は、英語一般に行はると雖、各地の人種同一ならざるを以て風俗、言語自から相異なる所あり、佛蘭西、西班牙、日耳曼、等の諸語、英語の間に行はる。

宗教

歐洲に在る一切の宗派、大抵此國にあらざるなし。最も盛なるは基督教とす、或る地方には、一夫數妻を帶する、モルモン教徒あれども、信者の數多からず。教育は、國內に普及し、各地小學校の設あり。大中學、各種専門學校、甚だ多く、又多くの書籍館、學術協會、等あり。

教育

都府

ニユー
ヨルク
府

諸都府

農産

都府

首府
ワシントン

館あり、日本の在留者八人。此地の緯度は日本の秋田市と粗、同一なり。ニユーヨルクは、國內第一の大都會にして、ハドソン河口に位す。東西洋貿易の要衝に中り、製造業亦盛なり。市街廣くして、鐵道絡繹し、全府の人口百七十萬あり、（ブルックリンを合すれば、人口二百五十五萬）當府並に近傍に日本人の在留者二百八十餘人あり。フィラデルフィアは、之に次ぎ、商工、製造の中心にして、人口百五萬あり。ボストン（四十四萬）も、要都なり。其他ミシガン湖上のシカゴ（百十萬）は、地球上最大なる穀物の倉庫にして、コロンブス世界博覽會場は即ち此地なり。又太平洋岸のサンフランシスコ（桑港）は、既に記せる如く、西岸第一の要港にして、太平洋鐵道、及太平洋漁船に依りて、東洋諸國、並に濠洲と、歐洲諸國とを連絡する要路たり。人口凡三十萬餘あり。（横濱より航程四千九百三十哩）當市其他太平洋沿岸に日本人の在留する者、凡六千人なり。

産物

合衆國は、地味、氣候、共に天産物の發生に適し、且つ土地大なるを以て、物

産頗る多く、遂に世界の各國を壓倒するに至らん。(農産)此國は、東部より開け、人口の増加に従て、開拓漸く西方に進み、太古の森林化して、沃野、美田、益々増加せり、殊にミスシッ、ビー河の水域は最大の農産地なり。農業は、所謂大農法にして、多く器械を使用す。南部は主に砂糖、綿花、煙草、菓實、珈琲、藍、玉蜀黍を産し、其他は、多く麻、穀物、馬鈴薯、葡萄、等を出す。世界中第一の穀物輸出國にして、歐洲人民の食物を供給すると實に大なり。

(畜産)牧場の廣潤にして、飼畜法の壯大なる、實に目を驚すものあり。牧畜は殊に西部諸州に盛なり。豚、羊、乳牛、馬、騾は、各數千萬頭あり。牛酪、乾酪は、最も東部に多し。(林産)中央及北方は、尙大森林を以て蔽はる、特に太平洋岸のチレゴン、カリフォルニアには大森林あり、樹木の高さ二百呎以上に達せり(發端の大木圖參照)樹木は、檜、松、樅、楓、等多し。

(水産)兩洋の漁獵、甚だ盛にして、淡水魚族亦多し。(鑛産)此國の鑛産に富むと、實に無限と云ふべし。金は、カリフォルニア等の西部に多く、毎年の産額、凡三千萬弗

畜産

林産

水産

鑛産

に達す。銀は其價格更に多く、水銀は、地球上全産額の凡五分三を生ず。鐵、石炭



泉噴の中系山 | キッロ

は、共に東部に多きを以て、開採上甚だ便なり、而して此二鑛最も多し。ミッソリー州

には、**金山鐵塊**の山三個あり、**ミスシッピー河谷**は、實際廣大の**石炭田**なり。石油は東部諸州に産し、第一の商品なり。此他、**亞鉛**、**銅**、**鉛**、**鹽**、**硫黃**、**硝石**、**明礬**等の産出少からず。

工業

(工業)工業の發達は、僅に六七十年來の事なれども、今は唯英吉利に及ばざるのみ。工業に必要なる、材料、燃料、交通、資本、勤勉、企業心の如き、大抵此國に備はらざるなし、只労働者の不足なるのみ。此國の工業は孰れも大仕掛にして、多くは蒸氣器械を使用し、製造の最も盛なるは、東北地方なり。重なる工業は、綿布、毛布、金屬工業(各種の製鐵、及器械にして、頗る盛なり)、革、硝子、煙草製造、油、砂糖、製粉、造船、紙、諸器械等にして、將來の發達は、實に測るべからざるものあり。

交通

交通、貿易 合衆國は、外に良灣、佳港あり、内に鐵道縱横に敷き、電線蛛網の如く、加ふるに、**運河**ありて、**河湖**を連絡し、數多の河川は遠く内地に船を通すべく、水陸の交通、極めて便なり。鐵道の進歩は世界無比にして、線路十八萬一千餘哩に達し、歐洲諸國の同線路を合算するも尙ほ之に及ばず、全世界の線路の四割以上に當れり、

商業

諸線大抵ニールク府を起點となす。郵便、電信、電話の制亦完備せり。

貿易は、唯英吉利に及ばざるのみ、内國の商業に至りては、歐洲の諸國と雖、能く此國に雙ぶものなし。何ごなれば此國は、兩大洋の中間に位し、交通の便利よろしく、

人民勤勉なるを以て、年を逐ひ益々繁昌するの勢あり。貿易市中ニールクは第一

に位し、全國輸出入品の過半は、此市を通過す。此國は、太平洋を隔て、我國に隣りし、彼

我國の通商益々盛なり。我國の領事はニールクに在留す。現

今重要な輸出品は、小麥、綿、煙草、其他畜産、林産、鑛産、水産等にして、輸入品は、綿

布、毛布、絹布、茶、及蠶絲等とす。日本の輸出國の中第一に位し、我國の最大花客なり。

政治、軍備 合衆國は、聯邦共和國にして、行政の長官は大統領なり。國會は元

老院及代議院より成る。各州には知事あり、又立法會あり。此國は建國以來日尙淺

し、雖、友誼を以て外國と交際し、未曾て外國と干戈を交へしことなし。我國を促かし

て國を開かしたるは、實に此國なり。

軍備 陸軍は、常備兵及民兵より成り、常備兵は二萬五千あり。海軍の軍艦は、總て八十

三艘あり。

附

アラスカ

○アラスカ

アラスカは、合衆國の屬地にして、千八百六十七年魯西亞より購買せるものなり。面積凡五十三萬餘方哩にして、殆んど合衆國の六分に等し。内地は山多く、山間處々に平原あり、森林多し。英領加奈太より來る、ユーコン河は西に流るゝと二千哩、ベーリング海に入る。氣候寒むく、地味あしけれども、南部には、穀物を作るべし。産物は、海豹、海獺、狐等の毛皮にして、又魚類多く、金鑛に富めり。住民はインディアン人、及エスキモー人にして、人口三萬三千餘あり。

墨西哥

第十地圖参照

位置

位置、山川、等 墨西哥は、面積凡七十六萬餘方哩にして、我國の五倍なり。人口は一千二百五十七萬にして、方一哩に十六人四分の割合なり。本洲の太平洋高原

面積

は、此國に於て最も高く、七、八千呎に至る、ロッキーマウンテン系南に延びて、シラマドレ山脈と稱す、頗る鑛脈、火山に富み、屢、地震あり。ポポカテペトル山は、國都メキシコ

府の東南に聳へ、高さ一萬八千呎あり、本洲の最も高き火山なり。大河は北境のリナグランドのみなり。

氣候

東西に海灣あるを以て、氣候概して中和なり、海岸の低地は、炎熱強く、濕氣多くして、惡疫流行す。雨節は五月の中頃に始り、四ヶ月に彌る。

人民、都邑

人民は、インディアン人過半にして、其餘は西班牙人と雜種なり。西班牙語多く行はれ、基督教信者最多し。上下人智進まず、首府メキシコは、高原に在り、四方山を繞らし、眺

人民

氣候



俗風の人ンアテンイ

殖産、興業の見るべきもの少なし。

産物

望宏壯にして、人口三十四萬あり。郊外に古昔の遺跡あり。

産物 (農産) 高地には、人民の常食なる、玉蜀黍、其他温帯の穀類、菓實を産し、低地には、甘蔗、珈琲、其他熱帯の菓實を産す。海岸には、(林産) 森林繁茂し、有用の木材を出す、コナニール虫は、赤色染料として、重要な物産なり (鑛産) 鑛物は、最も豊にして、金、銀、鐵、銅等を出し、殊に銀の産出は、世界に冠たり。

交通

交通、貿易、等

鐵道は、近年大に増加し、ヅエラクループ港より、メキシコ府を経て、合衆國のニューヨークに達する幹線あり。電信、郵便、電話の制も發達せり。輸出品は、銀を最とし、其他の鑛屬、木材、珈琲、煙草、皮革、等にして、輸入品は、織物、器械、等とす。我日本も、近頃通商條約を締へり。

政治

墨西哥は聯邦共和國にして、其制は専ら合衆國に則れり。陸軍の常備兵凡四萬あり。海軍は、砲艦四艘あるのみ。

位置

位置、區分

中央亞米利加は、北米洲の最南部にして、南はパナマの地峽に由て、南米洲に連る。地形細長くして、長さ凡一千哩、幅八十哩より、三百哩に至り、左の國々を包有す。

中央亞米利加諸邦

第十地圖参照

區分

一ガテマラ	面積、六萬三千四百方哩	人口、百四十三萬	首府、ガテマラ
一ホンデユラス	面積、四萬三千方哩	人口、三十九萬四千	首府、テグシガールバ
一サンサルヴァドル	面積、七千二百二十五方哩	人口、八十萬三千	首府、サンサルヴァドル
一ニカラガ	面積、四萬九千二百方哩	人口、三十八萬	首府、マテーガ
一コスタリカ	面積、二萬三千方哩	人口、二十四萬三千	首府、サンホセ
一英領ホンデユラス	面積、七千五百六十二方哩	人口、三萬三千	首府、ベリーズ

地勢

山川、等

墨西哥のシエラマドレ山、南に延びて、或は高原を造り、或は高峯を起し、而して地勢東西に傾斜す。最高峯は、ガテマラに在り、火山多く、地震度々あり。河流は皆短く、重なる湖は、ニカラガ湖とす。氣候も、物産も大抵墨西哥と異なること

氣候

産物

なく、人種、言語、風俗、宗教亦之に同じ。特別の植産物は、マホガニー(木名)蘇木、カカヲ(飲料材の樹木)、コナニール(紅色染料)、サルサパリラ(藥草)等にして、其輸出少からず。

交通

交通、商業、等 此國々は、商業上最肝要の位地を占めたり。ニカラガ運河の

商業

開鑿落成せば、太平洋岸より、ニカラガ湖を経て、大西洋に水路を開くべし、隨て世界の貿易に影響するも甚だ大ならん。電線、郵便あり、又海港より、内地の都會へ、鐵道を通ぜり。

政治

此諸國は、英領ホンデウラスを除く外、皆獨立共利國にして、近頃相合して、一大共和國を造らんとするの計畫あり。

西印度諸島

第十地圖参照

位置

位置、地勢、等 西印度諸島は、フロリダ半島より、南米のナリーノ河口に向ひ、弧線狀に列する、一大群島なり。島の數一千、全土の面積九萬五千方哩、人口四百

區分

地勢

氣候

三十餘萬にして、其四分三は黑人なり。諸島を大別して、大アンティル、小アンティル及バヘーマの三群島とす。大アンティル群島は、山多く、小アンティルには、火山多し。バヘーマ群島は、珊瑚島なり。諸島は雨多く、氣候溫暖なり。重要の物産は、砂糖、糖水酒、糖蜜、煙草、綿、珈琲、カカヲ、其他甘味の菓實等にして、貿易は頗る盛なり。住民は農作を主業とす。

大アンティル群島

大アンティル群島 は、キューバ、ヘイティ、ジャマイカ、及ポルトリコーの四大島なり。キューバは、最も大にして、西班牙に屬す。砂糖の産出は、世界第一にして、首府ハヴァーナは、世界第一の砂糖貿易場なり。ヘイティ一名サントミンゴ

小アンティル群島

小アンティル群島 は、ポルトリコー島より、ナリーノ河口に向ひて、連なる無数の島なり。

諸島

バヘーマ群島 は、英領にして、島數五百餘あり、嘗てコロムブス氏が、最初に發見せし者は、此群島の一にして、氏は之をサンサルヴァドルと名けたり。又コロムブ

バヘーマ群島

ス氏は、當時此島を東印度の東岸なりと誤信せしより、後遂に西印度なる名稱を附するに至れり。

バーミューダス（一名ソマース諸島）は、一群島にして、合衆國の東方六百哩に在り、諸島總て英國に屬す。（此群島は西印度諸島にあらずと雖、此に之を附記す）。

第三章 北亞米利加總論

一 海岸、島嶼、海灣

海岸 本洲の海岸線は、長さ二萬四千五百哩あり、東岸は西岸よりも出入繁く、島も多し。海岸線は、面積三百五十方哩につき一哩の割合にして、亞細亞洲の海岸線よりも割合に長し。西岸は我國と直接の關係あり、將來東洋諸國との交通は、多く此方の海岸に由るべしと雖、憾むらくは、其地勢大山脉を負ひ、急峻にして、沿海水深けれども、繋船に便利なる灣港多からず。

半島 西岸には、アラスカ、カリフォルニアの二半島あるのみなれども、東海岸には四半島あり。其突出の方向は、區々にして、一定せず。

島嶼 島も亦東側に多く、西印度諸島は、他日ニカラガ運河、又はパナマ運河成就せば、最も重要な位置を占むるに至るべし。西海のヴァンクヴァー島は、東洋と至大の關係あり。

海灣 海灣も、亦東海岸に偏し、西海岸には、僅に一個の長灣あるのみ。カリビアン海は、將來東西交通の要路となるの日あるべし。

二 地勢、山脉、平原

地勢

地勢

本洲の地勢は、極めて單一にして、西には高山脈を戴く、高き臺地あり、東には稍低き海岸山脈あり、

此二山脈の間は、廣き平原にして、北氷洋よりメキシコに達せり。

山脉、平地

ロッキー山系は恰も本洲の脊骨の如く、其樞軸は、北氷洋より次第に高まり、合衆國と墨西哥に至りては、四千呎、乃至八千呎の高原より突起し、其幅四百哩、乃至八百哩あり。而して其西の分脈は、カスケード山脈(最高一萬四千五百呎)、シラチツグ山脈(一萬五千呎)、シラマドレ山脈にして、最高點をセント、エリアス

山脉



北亞米利加洲の山脉及平原

(等高線は数字)

とし、一萬七千九百呎あり。アッパラシアン、即ちアレガニー山系は、其長さロッキ山系の四分之一に過ぎず。其山脈も遙に小なり、高さ平均三千呎にして、其最高點と雖、七千呎に足らず。右の二大山系の、一は西岸に近く、一は東岸に近きを以て、兩山系の傾斜は、勢内地の方、外方よりも長くして、其中間は、大平原をなせり。

三 河湖

河

河流 本洲の河系は、北洋系、南灣系、大西洋系、太平洋系の四となす。北洋系の大河マッケンジーとサスカチワン、兩河は、中央平原の北部を灌漑し、途中大湖を過ぎ、一千五六百哩の長流なり。大西洋系のセント、ローレンスと其他の諸流は、大湖の四近と、アッパラシアン山系の東傾地を灌漑す。

南灣系のミスシッピ、ミスソリー、ライナ、アルカンサス、リヲグランデ等の諸河は、中央平原の南部を灌漑す。其中ミスシッピ河は、世界の最長流にして、四千二百六十餘哩(ミスソリー河の水源より算す)あり、河口は一大三角洲をなせり。

太平洋系には、大河なし、ユーコン、コロムビア、コロラドの三河は、太平洋高地の西坂を灌漑す。コロムビア河は、魚族多く、コロラド河は、川床深く、千尋の懸谷を流る。以上本洲の河々は、多く、廣大なる低地を流るゝを以て、激流少なく、亞弗利加の川と異なりて、航行を妨ぐるものなし。

湖沼

湖は、西部の大鹽湖の外、大抵皆淡水湖にして、亞細亞の如く鹹湖多からず、又其數の甚た多きとは、

湖

北地の諸湖

南亞米利加の湖水少なきと相反せり。北方のペアル、スレート等は、極めて大なれども、水淺くして、且つ氣候寒むく、社會の用をなすと少し。

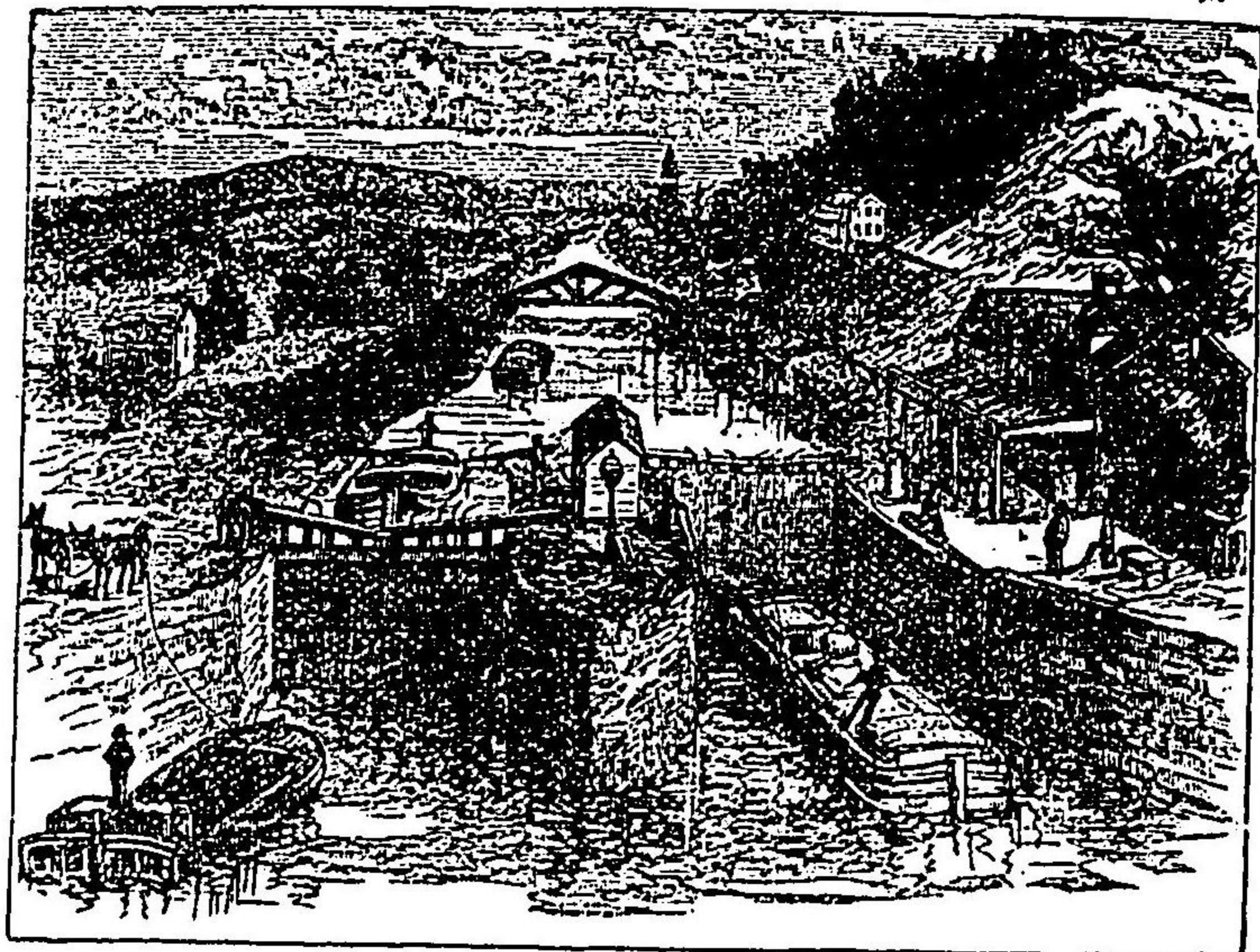
中央の諸湖

之に反し、加奈太と合衆國の間に群がる諸湖、スーパーリヤル、ミシガン、ヒューロン、イロー、ランタリヤは、五湖、相通するを以て、一層交通の便あり。水のイロー湖より、ランタリヤ湖に流下する所に、彼の有名なるナイアガラ瀑布懸れり、スーパーリヤル湖は、地球上最大の淡水湖にして、長三百五十五哩あり、河流を容るゝと、二百二十なり。

四 氣候

氣候

本洲の氣候は、概して大陸的氣候なり、即ち夏は極めて暑く、冬は極めて寒し、とは中央平原には、北極の寒風を遮ぎるべき山脈なく、墨西哥灣の濕氣は、遙に北方に流れ、又東西兩岸には、山脈ありて、兩大洋の勢力を被ること能はざればな



河 運

五 生物

植物

り、太平洋岸は、幸に黒潮暖流に繋たるゝを以て、其氣候日本の南岸よりも温和なれども、其區域狭し。東海岸の地方は、北極寒流、海岸に沿流するを以て、甚た寒むし。又本洲の北部は、甚た寒むく、バフィン灣、ハドソン灣の如きは、年中氷の解くるは、僅に、六、七週日に過ぎず。雨量も、各地大に異れり。太平洋の高地は、甚乾燥なれども、其西側の傾地は、冬に於て數ヶ月の雨期あり。南部平原、大西洋の平原、及其高地は、墨西哥灣、及大西洋の濕風によりて降雨多し。

動物

本洲の北部は、亞細亞と歐羅巴に接近するを以て、其生物彼れど類似すれども、南部は然らず。南部平原、大西洋平原、及東部高地に於ては、樺、松、柏、其他の大森林あり。平地の林木は、大半伐りたれども、此森林は、北極平原に延び、松、柏の林多く、更に北しては、矮樹、蘆苔となりて了れり。西岸地方は、雨量に富むを以て、小麥其他の穀物、及葡萄甚た多く産し、又巨大なる、松類、其他綠樹の森林、少からず。綿は、南灣に近き低地の主産物にして、玉蜀黍は、ミスシッピー河谷の中央部に、小麥は其北部に多く産す。

熊、馴鹿、麝牛、麋、海馬、其他數多の毛皮獸は、北部にあり。水牛の大群は、ロッキー山東側の高原に住せり。此他の野獸中には、鹿、狼、狐、海狸、アリゲートル(米洲特産の鱷)あり。又馬、牛、羊、豚の如き、其數少からず。
(亞細亞動物圖參考)

六 人文

人民

本洲の人口は、大約九千萬人あり。人民は、大抵白人種にして、歐羅巴より移住し、多くは基督教を信す。土人は、稍減少せりと雖、甚しき相違なし。北氷洋岸に住するものは、黒色のエスキモーにて、其他はインディアンなり、インディアンは、方今四十萬に過ぎず、此兩種族は、唯怪説を迷信するのみ。合衆國の南部及西印度諸島には、黒人種多し、これ亞弗利加より輸入せる奴隸の子孫にして、其數凡五百萬あり。要するに、本洲人口の一半は、合衆國內にあり。此國と加奈太には、英語専ら行はる。政躰は、加奈太の外は、皆共和政治なり。

政躰

本洲の中部と南部は、氣候人身に適し、東岸には、貿易に便なる灣港あり、内地には、河湖の交通に利なる者あり、地味概して好く、物産夥しく、其富年々増加すると甚た大なり。加ふるに、萬國の人民、此地に移住し來るもの日に益多く、荒地變じて都會となり、森林化して肥田となる、其進化の速なると實に驚くべし、而して曠野尙茫々として更に數億萬人を容るゝに足るべし。殊に合衆國は其文學、技藝、殖産、工業の進歩すると甚速にして、將に世界萬國を壓倒せんとするの勢あり。

世運

第六編 南亞米利加洲誌

第一章 發端

第十一地圖参照

廣袤

廣袤 南亞米利加洲は、北亞米利加と同しく、三角形なり。長さ凡五千哩、幅の最も廣き處三千哩にして、全洲の面積凡七百萬方哩あり。

沿海

沿海 海岸は、北亞米利加よりも、一層屈折少なし。パナマ地峽の東に、同名の灣あり。其以南の西岸一帯は、亦山脉の背後にして、大なる港灣なし。南端には、數個の島あり、其中テルラデルフエゴ島は、最も大にして、其極端をホルン岬と稱す。島と本土の間にマゼラン海峽あり、長さ三百哩にして、航海危険なり。其東北のフックランド島は、沿海波荒く、人跡稀にして、唯海鳥多きのみなれども、鯨獵船、又は其他の船舶に必要な良港あり。其以北の海岸は、大灣なし、唯パラナ灣は深し。東北端のセントローク岬を廻はり、北岸には、アマゾン河口あり。カリビアン海岸に、

ん。

此國は、共和政にして、制度憲法は概ね北米合衆國に則れり、(以下諸州殆ど皆共和政なれば、一々之を記せず)、近年内亂相續き、國債山の如し。

ヴェネズエラ

位置、地勢、等

面積五十九萬三千方哩、人口二百三十二萬餘なり。北海に多くの島あり。國の中央は、草原にして、チリーノコ河之を貫流す、長さ凡千五百哩、支流凡四百條あり。其河口は、凡五十に分れたれども、大船を通ずべき者は、唯一條のみ、毎年出水あり。西北と南部は、山地にして、樹木多し。マラカイボ湖は、海に通じ、寧ろ一個の海灣なり。人民水中に杭柱を樹てて、家屋を造れり。

都府、産物、等

首府をカラカスと云ふ、人口七萬餘あり、貿易盛なり。草原には、無数の牛、馬、羊、蕃殖し、牧畜は人民の主業なり。地味極めて肥へ、農産多く、諸種の礦物に富み、チリーノコの金坑は、著名なり。鐵道、電線、郵便の設あり。

氣候

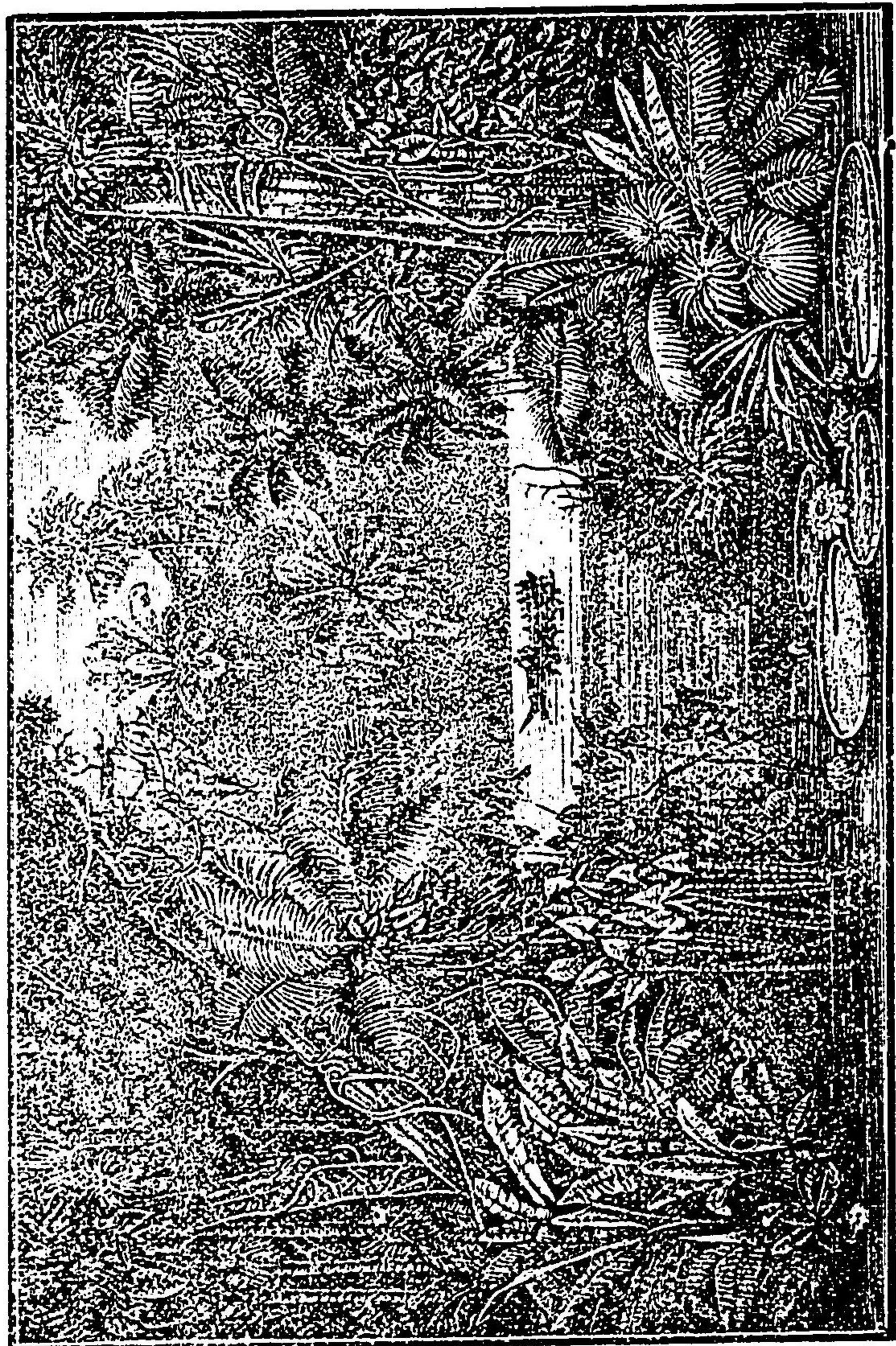
人民水中に杭柱を樹てて、家屋を造れり。

産物

無数の牛、馬、羊、蕃殖し、牧畜は人民の主業なり。地味極めて肥へ、農産多く、諸種の礦物に富み、チリーノコの金坑は、著名なり。鐵道、電線、郵便の設あり。

交通商

鐵道、電線、郵便の設あり。



チリーノコ森林

ギアーナ

位置 面積凡二十萬方哩、人口三十六萬餘あり。

- 一英領ギアーナ 面積十萬九千方哩、人口二十八萬餘、首府ジョージタウン
- 一蘭領ギアーナ 面積四萬六千餘方哩、人口六萬三千、首府パラマリボ
- 一佛領ギアーナ 面積四萬六千七百方哩、人口二萬二千餘、首府カイエン

地勢等 ギアーナは、一躰高地にして、南境は、高山連なれども、海岸は低地にして、往々海水の侵入するところを以て、和蘭の如く、處々に、堤防を築けり。

特別の産物は、ヅ・ニラ(香料)、カカヲ(製して飲料とす)乳樹、及電氣鰻とす(乳樹は、木幹より牛乳の如き汁を出す、之を飲料とす。電氣鰻は其蓄電を發散せしめて、之を捕獲す)。

ブラジル

位置、區劃 ブラジルは、本洲の中最も大なる國にして、九國と大西洋に堺す。

東西凡二千六百哩、南北凡二千四百哩あり。其面積、凡三百二十萬九千餘方哩にして、殆んど歐羅巴全洲に等し。人口僅に一千六百三十萬、一方哩に付五人の割合なり。

地勢、河流 北部は、廣大なる平原にして、アマゾン河と其支流之を灌漑し、森林鬱蒼たり。南部は、高原にして、低き山脉にて横斷し(九千呎の山は稀なり)、アマゾン

ン河系と、ラブラダ河系の分水界を爲し、其山脉は海岸と並行せり。

アマゾン河は、世界第一の大河にして、多くの支流と共に内地の交通に便すると極めて大なり。其河口は、幅百五十哩にして、其支流マデイーラと、テグロの如きも、頗る大河なり。アマゾン河系の水路は、凡三萬哩あり、歐洲の河々を悉く合算するも、尙ほ之に及ばずと云ふ。其他トローカンティンス河、サンフランシスコ河、等亦水運の便あり。南海岸のパートース湖は、最大の湖水なり。

氣候、産物 氣候熱く、雨量甚だ多く、従て草木の繁茂し、且多種なること、他に比類なし。(農産)世界第一の珈琲産國にして、地球上全産額の半を産す。(牧畜)牧畜は

人民の主業なり。(鑛産)

鑛物多けれども、交通開
けず、工夫不足なるを以
て、採鑛微々たり。

人民市府 首府リ

ナシ。チーロは、最要の

都會にして、其港は地球

上最良港の一なり、人口

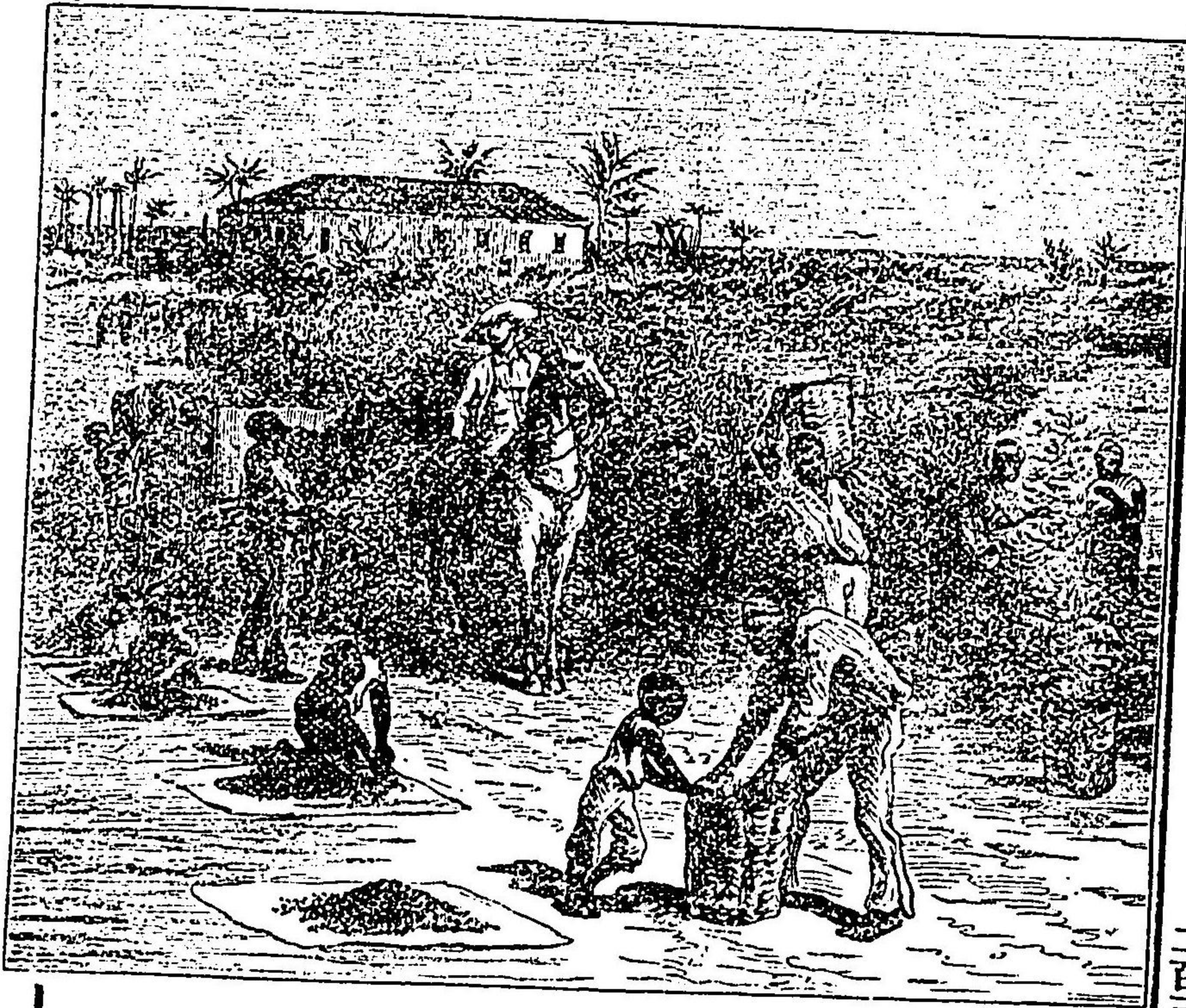
五十二萬あり。バヒー

ア、バルナムブーコ、及

パラは、重なる都會な

り。バルナムブーコ、

葡萄牙の首府リスボン



圖の取採非珈

交通 商業

この間には、海底電線あり。

交通、商業、等

重要な港市の間には、鐵道(八千哩餘)あり。

國內の諸流、殊に

アマゾン河は、數千哩の間、船を通じ、其沿岸及海岸は貿易盛なり。

此國は、帝國な

りしが、千八百八十九年に革命起り、皇帝を廢して、共和政府を建てたり。

陸軍は五

萬二千餘人にして、海軍の艦船凡六十一艘あり。

エーケドール

位置、地勢、等

エーケドール(赤道の義)は、其地赤道に跨るを以て名づけたる

なり。面積十二萬餘方哩、人口百二十七萬あり、アンデス山中の高峯は、ナムボラ

ー、コートパクシーにして、共に大火山なり。低地は、健康を害し、高地は、氣候爽快

なり。

人民市府、等

首府キートーは、海拔九千五百四十呎の高地に在り、氣候常に春

の如し。雖、四方には、白雪を戴く火山あり、從て地震多し、人口八萬あり。ガヤキル

は、キートーを距る九十哩、太平洋岸の要港なり。

秘露

位置、地勢、等

秘露は、面積凡四十六萬三千餘方哩、人口凡三百萬あり。此國に於て、アンデス山系、分れて二箇の並行脈となり、最高點は西脈の中に在り、二萬三千呎なり、又地球上最高の一火山あり、ガラテリと稱し、實に二萬千九百六十呎あり。此國は、熱帯に在るも、地勢高く、氣候頗る平和なり、西方の海岸は、旱魃甚しく、不毛の地なり。

人民、市邑

中央の大學校は、亞米利加の最舊の大學校なりと云ふ。國都リマは、人口十萬餘あり、カールリアナは、其海港なり。クーズゴは、古代の國都にして遺跡今尙存せり。

産物、交通、等

アンデス山中には無峯駝あり、貨物を運搬す。アルパカ(一種の綿羊)は良質の羊毛を生ず。鐵道は、海岸よりアンデス山を横斷して、遠く内地に達

位置 地勢 氣候 人民 市邑 産物

交通

政治

する、二大線路あり、其海面より高きと、一萬五千六百呎にして、最も著名の工事なり。カールリアナ港には海底電線のステーションありて、世界各地と通信すべし。夙に

我日本も通商條約を結へり。

當國は往昔インディア人住居し、一時は開明、進歩せしが、西班牙人の侵畧に會ひ、終に同國に屬せしが、千八百二十一年獨立共和國となれり。近年隣國智利と戦ひ、其富源なる鳥糞島と、硝石



圖の取採護

坑を失ひ、又海軍を奪はれ、爾來國力衰へたり。

ボリーヴァ

位置、地貌、等

ボリーヴァは、面積七十七萬二千方哩、人口凡二百三十萬あり。アンデス山系のソラータは、南亞米利加の最も高き山にして、一萬四千八百呎あり。秘露の境上にテイ、テイ、カカ湖あり、高原に位す現今の首府はスークレイなれども、最大の都市は、ラ



山中の輸送の状況

位置
地貌

人民

産物

智利

チリにして、人口六萬あり。國産の護謨は、品質優等なり。富源の重なるは、鑛物にして、就中銀は、輸出價額の三分二を占む。

位置、地勢、等

智利は、狹長の國にして、其面積二十九萬四千方哩、人口二百九十萬あり。地勢は、海岸より内地に向て崛起し、終にアンデス山に達す。其最高峯アコンカガは、二萬二千四百呎あり、火山多く、從て地震多し。北部は、雨少なく、殆んど沙漠の如く、南部は、雨多量にして、極南の地は、沿海に氷山浮流す。

市府、産物、等

此國は近隣諸國よりも進歩せり。首府サンティアゴは、人口二十五萬あり。森林には、良材あり。羊毛、獸皮を輸出す、第一の輸出物は、銅也。近頃の戦勝にて秘露より得たる、ナンチア諸島の鳥糞は頗る著名にして、重要な富源なり。鐵道工事の盛なるは、本洲の中、此國に若くものなし。

政治、等

此國は、初め西班牙の副王國なりしが、一千八百十八年共和政府を創建

人民
市邑
産物

交通
商業
政治

屬島

したり。元來智利人は、勤勉有爲なるのみならず、近年アルゼンタイン共和國より、七萬五千方哩の土地を得、次て又秘露と戦て勝ち、新に版圖を加へたれば、現今本洲の中頗る強大の國となれり。海軍は軍艦凡二十三艘あり。西方、凡四百哩にシユアンフエルナンデズ島あり。又南部の西岸に接し、數多の島あり。南端にテイルラデルフューゴ(火地)群島あり、火山多きを以て此名あり。

アルゼンタイン

位置 地勢

位置、地勢、等 面積百七十七萬八千方哩にして、我國の十倍なり、人口三百九十萬餘あり。テイルラデルフューゴ島の一半、此國に屬す。西部は、高原なれども、其他は一躰に肥沃の平原なり。北部は、パムパスと稱する、大草原にして、一樹の影をも見ず、牛、馬此に蕃殖せり。パタゴニア地方は、概ね不毛の地なり。パラナ河、ウルゲー河と會して、ラプラタ江と爲る。北部は概ね暖和にして、南部は風雨強く、極南の地は、寒氣非常なり。

氣候

人民 產物

人民、產物 首府ブエノスアイレスは、人口六十九萬、貿易盛大なり、馬、牛、羊の數實に夥しく、其價非常に廉にして、例せば牛一頭の價一、三十圓に過ぎず。**交通、商業** 内地の交通は、鐵道を布設せしより、大に面目を改めたり。貿易の中心は、ブエノスアイレスなり。近年パタゴニアを併せて、大に領土を擴め、國勢漸く隆盛に赴んごす。

パラゲー

位置 地貌

位置、地貌 面積凡九萬八千方哩、人口四十三萬あり。國內は、概して平野なり。パラゲー河、國の中央を南流し、パラナ河は東境を爲せり。西部は、草木繁生せり。氣候溫和にして、地味豊饒なり。

人民 產物

人民、產物、等 首府を、アースンションと云ふ、人口四萬五千あり。重要な產物中、エルバマテ、即ちパラゲー茶は、此國の特產物なり、こは南米諸國に於て、茶に代用する樹葉にして、其輸出多し。

ウルゲー

位置

地勢

位置、地勢等 面積七萬二千餘方哩、人口七十九萬あり。一體草原にして、頗る牧畜に適す。濕氣多けれども、健康に適せり。首府モンテヴィデナは、人口二十四萬四千餘あり。人民の主業は、牛、馬、羊の牧畜にして、毛皮、乾肉、獸脂等を輸出す。

附 フチークランド諸島

フチークランド諸島

フチークランド諸島は、テイーラデルフューゴ島の東北に位し、東西の二大島と、數多の島嶼より成り、人口凡一萬五千あり、土地頗る泥炭に富み、牛、羊、豕、兔、鵝鳥、蕃殖し、沿海には、海象、海豹多し。現今此諸島は、英吉利の所領なり。

第三章 南亞米利加總論

一 海岸、島嶼、海灣、等

海岸

海灣

地勢



南亞米利加山脈圖

本洲の海岸線は、僅に一萬五千哩にして、面積四百三十五方哩につき一哩の割合なり。然れども、本洲の航河甚だ長きを以て、大に此缺を補ふべし。本洲の沿海に大島なし、又海灣の大なるものなし、唯アマゾンとラブラタの兩河口は、大灣を成し、船舶の出入盛なり。

二 地勢、山脉

高原、平原

地勢 本洲の地勢は、極めて簡單なり、即ち西に

大山脈、東に小山脈あり、而して此兩山脉の間は、平原にして、北はヨリーノコ河口より、南はラブラタ河口に達せり。アンデス山系の西陲

は、急にして短く、其東阪は、長くして緩なり。故に本洲の地貌は、分ちて四部となすべし、アンデス山系、ブラジル高地、ギアーナ高地、及中央平原これなり。

山脈 アンデス山系は、本洲の樞軸なり。其幅は、二千哩、乃至三千哩あり、大抵平行の二山脈を成し、其間に狭き臺地と、山谷あり。此山系の最高峰は、殆二萬五千呎あり、唯亞細亞のヒマラヤ山に及ばざるのみ。此山系断切する所なく、北は、パナマ地峽に於て、低くなり、それより北の方ロッキー山系に續き、南端は一線の數個の岩島となる。此山系には、往々恐るべき地震を起し、全く市街を滅するあり。

高原 ブラジル高地は、茫々たる高原にして、其平均の高さ僅に二千五百呎ばかりにして、所々に五六千呎の連山あり。ギアーナ高地は、嶮岨なる山地にして、アマゾン河の灌地と、ヨリーノコ河の灌地とを區別する、分水界をなせり。

平原 中央平原は、分れて三區となる、即ちヨリーノコ河平原、アマゾン河平原、ラブラタ河平原なり。ヨリーノコ平原は平にして樹木なく、亦數百哩の間殆んど一個の礫なし。熱帯の雨期終れば、此平原は一大牧場となり、居民之を「草海」と稱す、よく數百萬の牛馬を畜ふべし。然れども、乾期の終る前には、此草原は一變して沙漠となり、熱風沙を卷て、塵雲空に漲ぎり、牛馬は、皆な山麓に遁れ、無數の大鹿は、皆澤地に潜みて次の雨期を待つなり。

アマゾン河平原は、他の平原よりも、遙に大にして、深林鬱蒼として、大なる蔓草之に纏ひ、錦鳥嘯り、美蟲歌ひ、

アンデス山系

ブラジル高地

ギアーナ高地

ヨリーノコ河平原

アマゾン河平原

ラブラタ平原

河

東北洋系

東南洋系

猿猴、其他熱帯の動物、其中に彷彿ひ、開明の人は殆んど住居せず、僅に河流に山りて往來するのみ。抑も此大森林は、世界中最大のものにして、延びて四方の山側にも登れり。ラブラタ平原は、草海の三倍よりも大なり、能く數百萬尾の牛馬羊を牧養すべし。

三 河湖

本洲の河系は二あり、一は、東北洋系にして、其大河は、アマゾン、ヨリーノコの二河なり。一は、東南洋系にして、其大河は、ラブラタなり。

アマゾン河は、長さ四千四百哩あり、世界中の最大河にして、一千哩以上の支流八個を容る、其下流は、恰も海の如く、河床甚だ深く、大艦もよく二百五十哩の間を通行すべく、小艦はアンデス山下に達すべし。此の如くなれば、其河幅亦頗る廣く、對岸を望むべからず。河の兩岸は大抵深林にして、殊にヨリーノコ河との分水界は、世界中にて最も大なる大古林を成し、地勢甚だ低く、一線の連河を穿ては、兩河を通すべし。

ヨリーノコ河は、長さ一千五百五十哩あり、河水深く、殆んど河源まで船を遣るべし。然れども、河水間斷なく増減し、九月には、汎濫數百哩に及ぶ。

東南洋系のラブラタ河は、ウルグーと巴拉ナ兩河の合流なり。河口は、大江を成せども、沙灘あり、此他の河流は、サンフランシスコ、マグダレーナ、テグロの三河なり。太平洋に注ぐ河は、山間の急流のみなり。

動物中著るしきものは、アンデス山のラマ、及アルパカなり、共に小なる駱駝の如し。此外、ビューマ(虎の一種)ジャガー(虎の一種)、狼、蟻、コンドル(鷲の類)、ナンデュー(駝鳥)、ベングイン(鵜の屬)、蜂、鳥あり。又昆虫類の多くして美麗なると他の大洲に冠たり。馬、牛、羊は、歐羅巴より輸入せるものなり。

六 人民

本洲の人口は、凡三千六百五十萬あり。人種は、白人、インディアン、及雜種にして、ブラジルには葡萄牙人の子孫多く、黑人種少からず。其他の白人は、大抵西班牙人の子孫なり。秘藏國は、墨西哥と同じく西班牙人の侵畧以前既に其インディアン人、大に開明の域に達したる國にして、今は西班牙人と、インディアン人の雜種多く住せり。本洲には、基督教普く行はる。言語は、大抵西班牙語なれども、ブラジル人は、葡萄牙語を用ゆ。ブラジル國の政体は、近時まで帝政なりしが、今は他の諸國と同じく、共和政体となれり。本洲の諸國は、概して文運進まず、事業興らず、遂に歐洲諸國の後にあり。

第七編 世界總論

以上諸編に於ては、列國諸邦に諸大洲總論を逐次別々に講論したり、今より之を總括して世界全統の事を講論し、併せて地球と太陽との關係を記述すべし(地球の形狀、緯度線、等の事は、日本地理の卷首に於て、少しく之を記したるに、今復此に之を論ずる所以は、天文地理の完備を望めばなり)。

第一章 天文地理學

一、地球の形狀。此地球は、恰も平面體の如く見ゆれども、其實は、球體にして、動星の一に外ならず、常に太陽の周圍を連轉す。今其球體なる證據を擧ぐんに、(一)大洋に於て、船舶の遠方より來り、次第に岸に近づくを視るに、先づ桅の頭眼に觸れ、それより船身漸く現はるゝなり。(二)一處より、西又は東に向て、直行して止まざるときは、終に發程の處に歸着すべし。(三)日光は、一時に地球の全面を照さず、其一時に照らす處は、常に其半面に過ぎず。(四)人若し北方に向て旅行せば、北極星の益々高く升るを見るべし、然るに南方に向て旅行するときは、北極星漸く地平線に近づき、終に全く見へざるに至るべし。(五)月蝕の時に、地影の月面に映するを見よ、圓々として、圓形なり。

一、地球の大きさ、等。右の五證を以て、地球の球體なると明なり、而して其直徑は殆んど八千哩にして、

にあら
す

地球
兩極

赤道線

緯度線

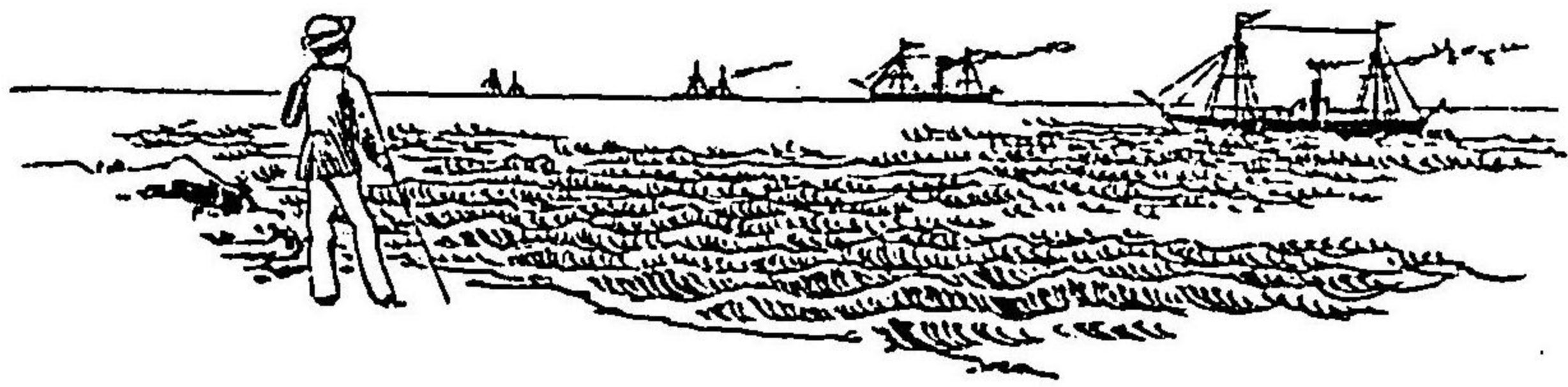
經度線

子午線

其周圍は、殆んど二萬五千哩あり。然れども、地球は、正球體にあらざ、其形も恰も楕の如くにして、南北の直径は、東西の直径よりも、凡そ二十六哩短かし。南北の直径は、之を地球と稱し、地球此軸に山りて自轉す。此軸の北端を北極と稱し、南端を南極と稱す。此地球と直角を爲して、兩極より同距離の所に於て、地球の周圍を東西に周ぐる線を赤道(等分線)と名け、之を境として、地球を分ちて、北半球、南半球となす。

三、經度線、緯度線 地球の表面に、東西南北の縦横線多くを引きて、各地の位置を求むるに便にす、之を經度線及緯度線と云ふ。是れ固より假想線なれども、之に由りて、各地の位置を精密に定むるを得るなり。緯度線とは、赤道と平行して、東西に地球を一周する線を云ふ、即ち赤道より南北の距離を算する爲めに設くる者にして、赤道線を零度とし、其南を南緯幾度、北を北緯幾度と稱す。赤道に近き緯度を低緯度と稱し、極地の緯度を高緯度と稱す。

又赤道線及他の緯度線と直角を爲して、兩極を通過する環線は、即ち經度線にして、東西の距離を測る爲めに設くるなり、一に之を子午線と稱す、そは太陽此線に達する時は、其地の正午なればなり。而して此子午線の一を基本(即ち零度)とし、其以東を東經幾度、其以西を西經幾度と稱し、以て其遠近を測る。但し現今は、萬國協議の上、英國



經緯度
數及其
距離

地球は
一の動
星なり

ロンドン附近傍のグリニッチ子午線を本初子午線と定め、此れより東西經幾度と稱するを通則となす。

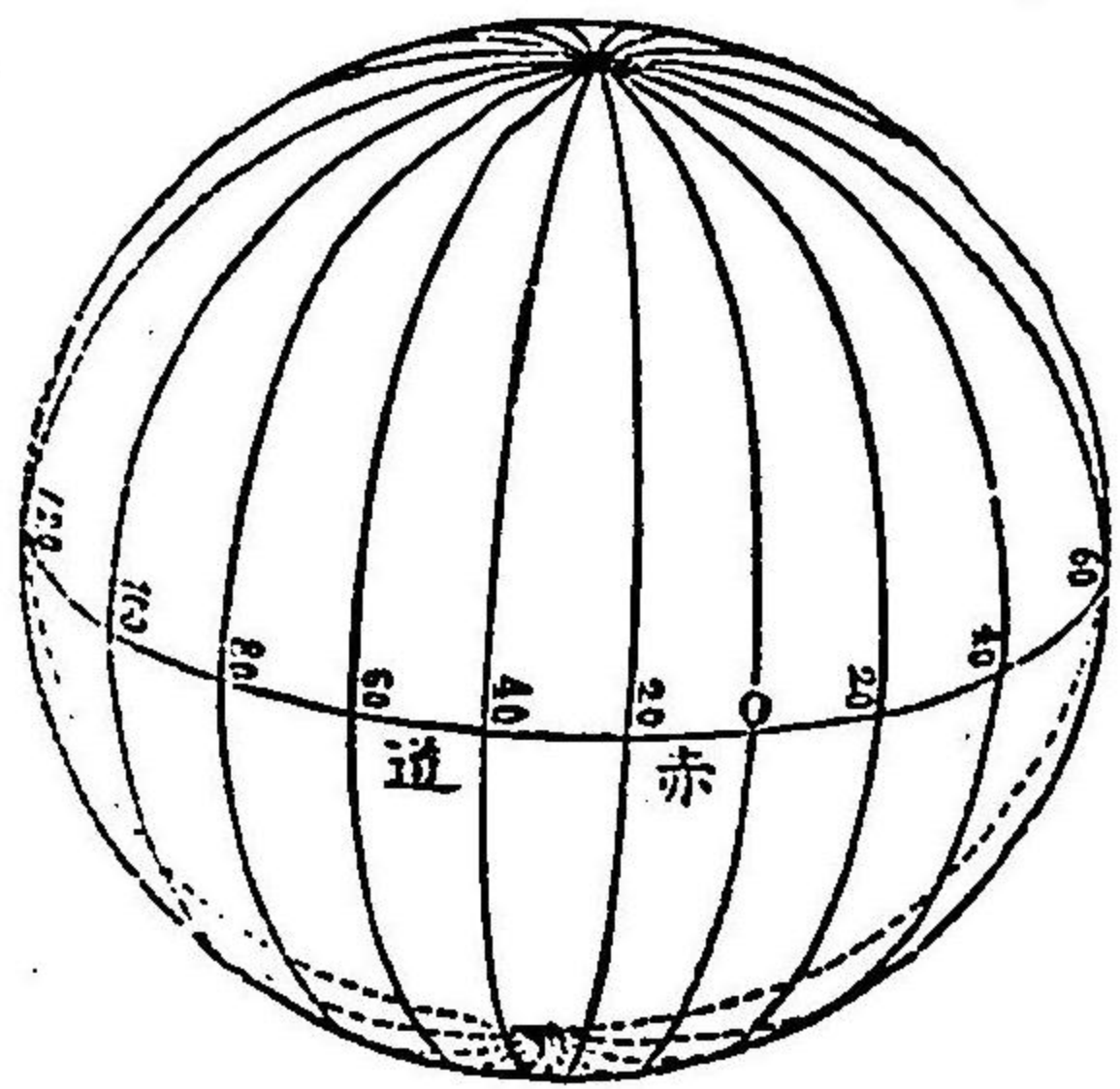
此經度と緯度の度數は、各地球を周りて三百六十度となし、緯度は南北各九十度、經度は東西各百八十度を以て終りとす、而して一度は、之を小分して六十分、一分は六十秒となす。又緯度一度の距離は、大抵六十九哩餘にして、各地同一なり。經度一度の距離は、緯度の高低に由りて同じからず、赤道の邊に於ては、經度一度の距離は、大抵六十九哩餘、北緯二十三度半の地に於ては、大抵六十四哩、北緯六十六度半の地に於ては、大抵二十八哩なり。

四、動星たる地球

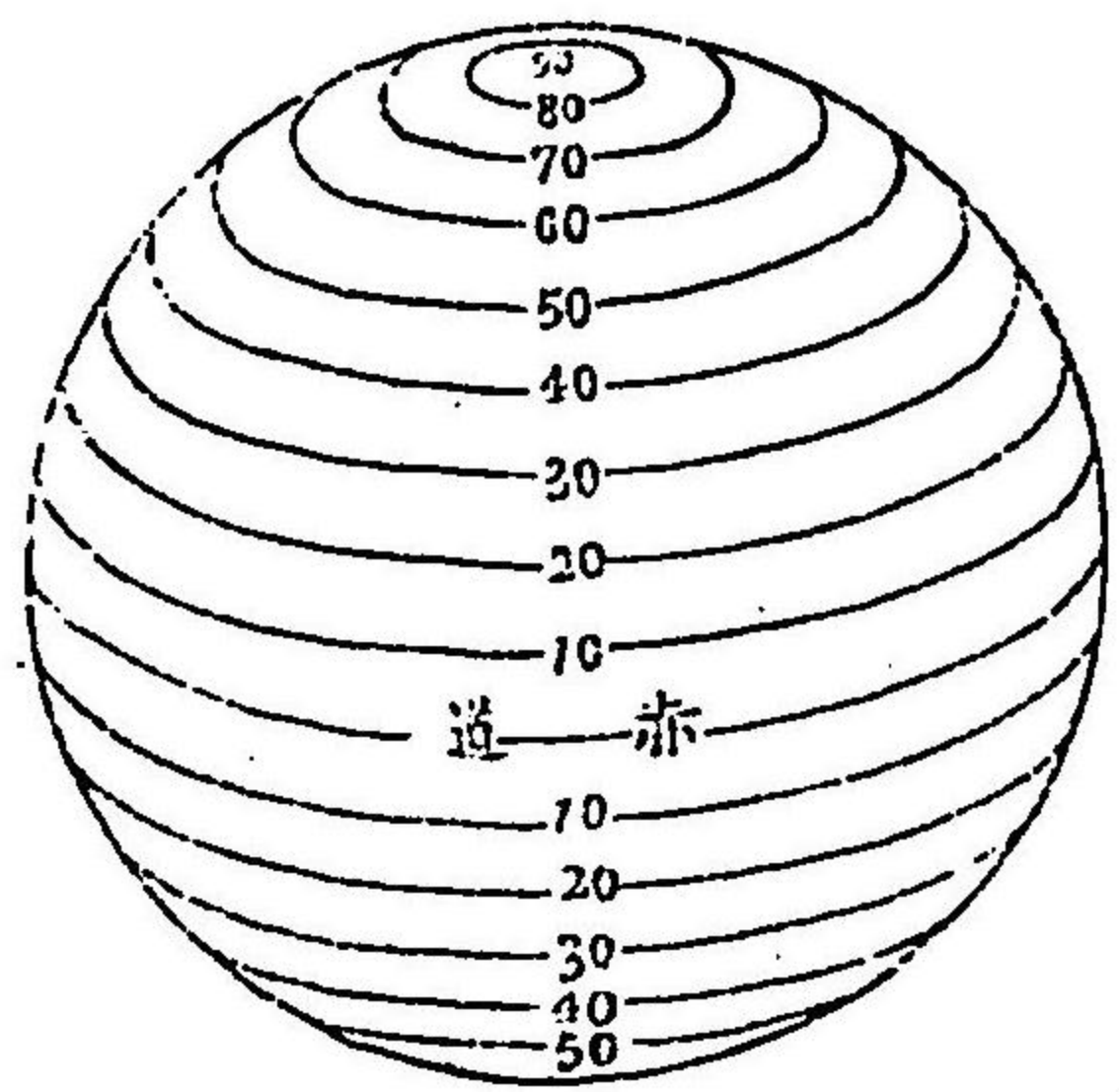
地球は、其形も球體にして、他の動星

と同じく空間に懸り、一定の通路によりて、太陽の周圍を運ぐり、須臾も止ることなし。其運ぐる通路を軌道と稱す。古の人は地球を不動の平面體とし、日月、星辰、地球の周圍を連轉出沒するものと假定したれども、學問の進歩と共に、此妄想全く破れ、地球の太陽の周圍を運ぐり、太陽より光線を受くると益明かになりたり。

北極



南極
經度線



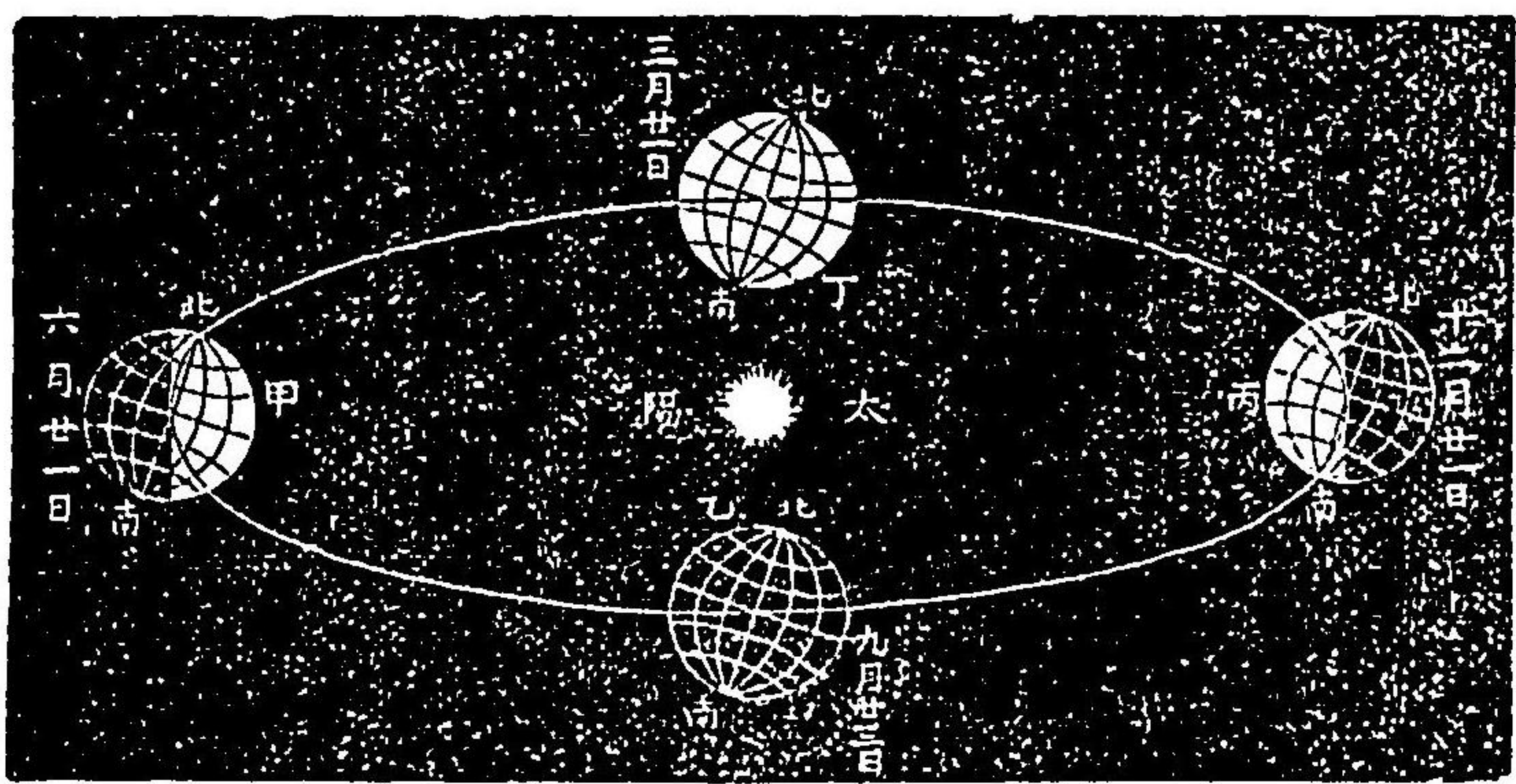
緯度線

地球の位置

地球の運動

日動

年動



地球の運動の圖

太陽の周圍を速ぐる動星の大なる者八あり、其太陽を距つる距離同じからず。其距離の近き者より擧ぐれば

水星、金星、地球、火星、木星、土星、天王星、海王星にして、地球は太陽
Mercury, Venus, Earth, Mars, Jupiter, Saturn, Uranus, Neptune
を距つると、凡そ九千三百万哩、其大さは、動星中の第五に位し、太陽
の大きさは、實に地球の二百萬倍以上なり。又動星中各自の衛星を有
する者あり、地球も亦一個の衛星を有す、即ち月にして常に地球の周
圍を運行す。

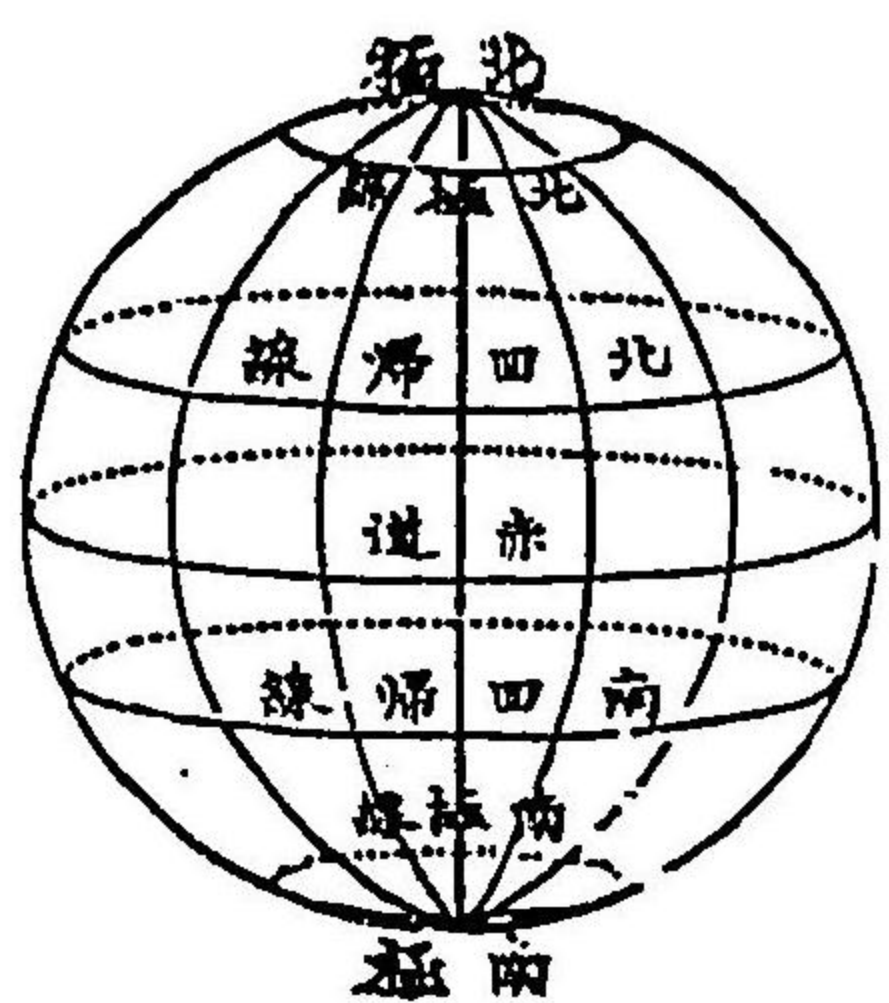
五、地球の運動

地球の運動に二様あり、一を日動と云ひ、一
を年動と云ふ。日動は、即ち一日二十四時間に、其軸に由りて西より
東に一回轉する者にして、太陽の東より西に運動するが如く見ゆる
は、之れがためなり、其太陽の東に升るが如く見ゆるは、吾人の居處の
之に向て進むが故にして、其西に没するが如くなるは、吾人の居處の
之れより背進するが故なり。此日動は、即ち晝夜の生する所以にし
て、晝夜二十四時間の中、各地大抵一回、太陽に面するものとす。

地球の年動とは、地球其軌道に由りて、太陽の周圍を速ぐる事にし
て、此軌道は、其形ち完圓ならずして楕圓なり。此年動に要する時間

四季の變化

を一年と稱し、殆んど三百六十五日四分一なり。地球の日動するや、其地軸は常に其軌道の平面と、大抵六十六
度半の傾斜をなして、其位置の變ずるとなし。故に其傾斜と、年動
とに由りて、一年中一時は、太陽北半球を多く照し、一時は太陽南
半球を多く照らす。其多く照らす方は夏にして、之に反する方を
冬とし、又冬夏の間を春とし、夏冬の
間を秋と云ふ、四季即ち是なり。



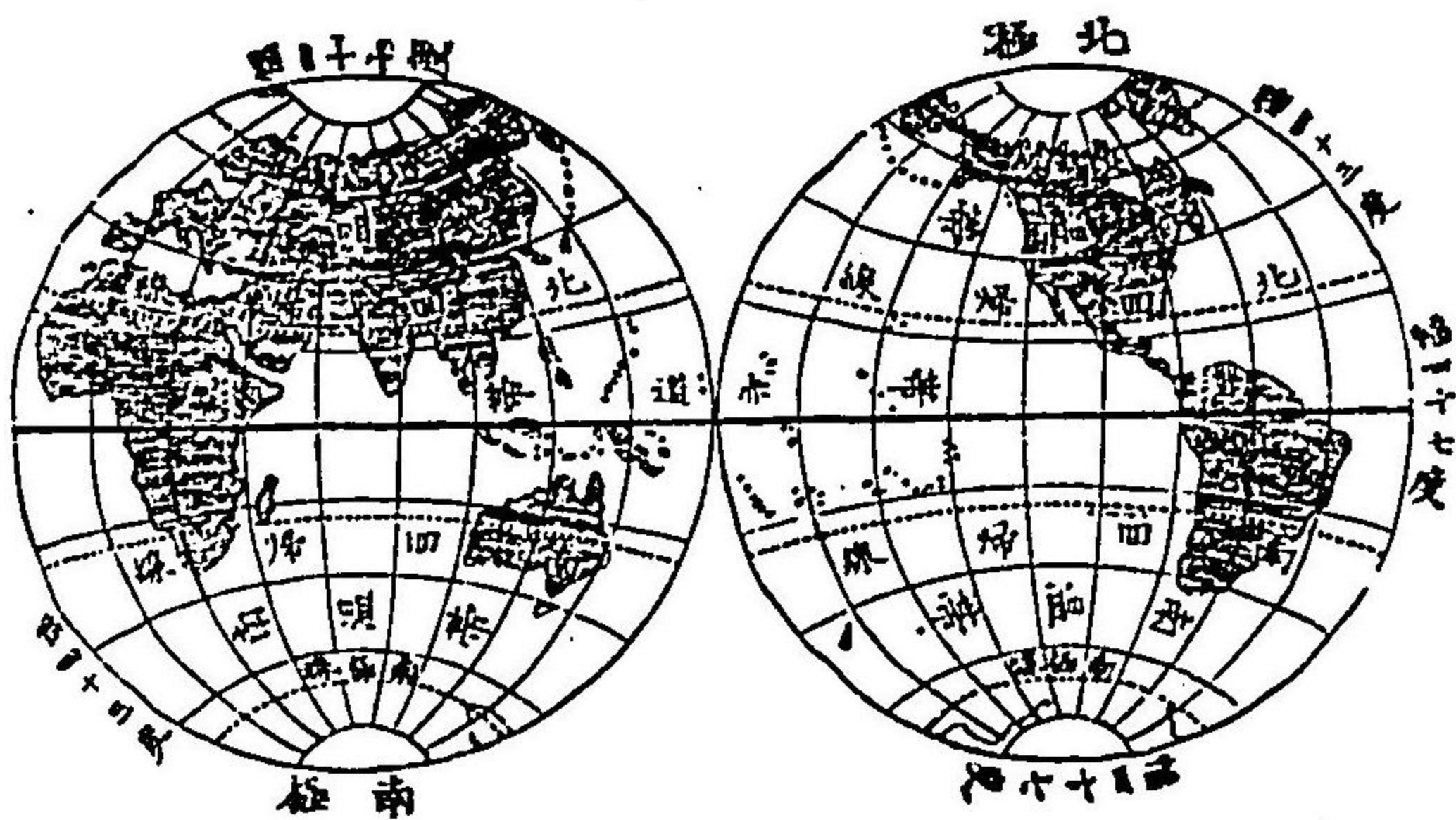
此の如く太陽は、交互に、南北兩半
球を多く照らすなり。其北半球を最
も多く照らす時は、六月廿一日にし
て、太陽北緯二十三度半に在り、日光

の北半球を直射するは、此地を限りとす。

六、回歸線

右の二十三度半の處に於て、地球を周りて一線
を引き、之を北回歸線或は夏至線と稱す。太陽此に達する時は、北
半球に於て晝最も長し。それより太陽次第に南に歸り、終に九月二

十三日に至れば、太陽赤道の上、即ち零度に在り、全地球上晝夜平分となる、是れ北半球の秋の彼岸の中日、即ち



五の帶の圖

秋分とす。其より太陽更に南に進み、十二月二十一日に至れば、太陽は、南緯二十三度半に在り、日光の南半球を直射するは、此地を限りとす、乃ち此に亦地球を周りて一線を引き、之を南回歸線、或は冬至線と稱す、太陽此に達する時は、北半球に於て晝最も短し、これより太陽復た北に歸り、翌年三月廿一日には、正に赤道の上に達し、晝夜平分となる、即ち北半球の春の彼岸の中日にして春分なり。

兩極線

七、極線 南北兩回歸線の起る所以此の如し。而して太陽北回歸線に達する時は、其光線の南半球に及ぶと最も少くして、南緯六十六度半以南は、暗黒となり、又其南回歸線に達する時は、光線の北半球に及ぶと最も少くして、北緯六十六度半以北は、暗黒となる、乃ち此に地球を周りて各一線を引き、之を南極線及北極線と稱す。

地球の五帶

八、五帶 以上の四線、即ち南北兩回歸線と南北兩極線によりて、地球を五帶に分つ、即ち氣候の分界帶にして、兩回歸線の間を熱帶と稱し、兩回歸線より兩極線に至るの間を温帶と稱し、それより以南と以北を寒帶とす、之を地球の五帶と稱す。

第二章 地文地理學

第一地圖参照

一 陸地

水陸の廣袤

大陸

地球の表面は、大約一億九千七百萬方哩にして、陸面は其四分一強を占め、水面は四分三弱を占む、

東西半球の陸

即ち陸面は、凡五千五百五十萬方哩、水面は一億四千五百五十萬方哩あり。

東半球の陸は、西半球の陸よりも、畧二倍半大なり(西經二十度及東經百六十度の經線を以て、東西兩半球の界とす)。又之を赤道より南北に分ては、北半球の陸は、南半球の陸の三倍なり。

各大洲の面積を比較すれば、左の如し。

各大洲の面積

亞細亞……………一七、〇〇〇、〇〇〇方哩

亞弗利加……………一四、〇〇〇、〇〇〇方哩

北亞米利加……………八、七〇〇、〇〇〇方哩

南亞米利加……………七、〇〇〇、〇〇〇方哩

歐羅巴……………三、八〇〇、〇〇〇方哩

阿西亞尼亞……………三、六〇〇、〇〇〇方哩

東西大陸の形状

東大陸、即ち舊世界と、西大陸、即ち新世界の二大陸は、各、北の方大なり。而して又各大洲に就て見るも、何つれも、北の方幅廣く、南の方、幅狭くして尖れり。地球上の半島の大なるものも、亦殆んど皆南方に向て尖出せり。

諸大洲の海岸

北の三大洲の海岸、殊に歐羅巴の海岸と亞細亞の東海岸は、多くの海灣、半島あるがため屈折すると甚し。然れども南の三大洲の海岸は、然らずして、大なる屈曲殆んどこれなし。

北諸大洲の半島

北の三大洲には、各互に相似たる一個の半島東南に突出せり、即ち後印度、希臘、フロリダの三半島を看よ、各その東南方に、大なる群島あり。

島の種類

島嶼 地球上の島嶼は、大抵一列の彎曲状をなすか、否からざれば一所に群集せり。又島には大陸島と大洋島の別あり。大陸島とは嘗て大陸の一部なりしが如く觀ゆるものにして、大陸島の重なるものは、亞細亞と北

大陸島

亞米利加の東方、並に東南方にあり。大洋島とは、遙なる大洋中にあるものを言ふ、大洋島の重なるものは、太平洋中に在り。アゾール諸島とバーミューダス諸島は、大洋島の群集せるものなり。セントヘレナ島とアスセン

大洋島

ション島は、大洋島の孤立せるものなり。

火山島

又火山島と珊瑚島の別あり。火山島とは、火山力の爲めに、大洋の底より噴起したるものを言ひ、其海岸は、斷崖多し。珊瑚島とは、珊瑚蟲の造りしものにして、大洋の暖部にのみあり。珊瑚島は、通例地勢低くして少なり。

珊瑚島

ポリネシア群島の部に粗、此區別を記したり。

舊世界の山系

山岳 舊世界の山系の中重なるものは、太平洋の海岸に起り、大西洋の海岸まで連なる、大山系にして、其長さ凡そ一萬二千哩あり。幾多の山系の、合して成るものなり。此山系の中重なるは、ヒマラヤ山系、コーカサス山系、アルプス山系にして、ヒマラヤ山系の最高峯は、海拔大抵二萬九千呎、即ち五哩半なり、之を世界の最高山とす。

新世界の山系

新世界の長さ山系は、北より南に貫く、其長さ凡九千哩あり。此山系は分ちて二となす、即ち一は南亞米利加の

新世界の山系

アンデス山系、一は北亞米利加のロッキーマウンテン山系にして、其最高點は、南亞米利加にあり、海拔凡そ二萬四千呎なり。

利益

山は、甚だ大切のものなり、何となれば(一)山あるが故に、大氣に含む濕氣の大半を收縮し、雨雪を降らすなり、(二)地球上の大河は殆んど皆山より發源するなり、(三)高山の嶺は寒むくして、熱帶の酷熱を和らぐるの効あり、又(四)人生に缺くべからざる礦物は、大抵山にあり。

火山

火山は、大抵山岳島か、或は海に近き山脈の中にあり。東半球の火山は、多く亞細亞洲の海岸に近き列島に位置す、日本島亦此中にあり。西半球の火山は、大抵其大山系にあり。太平洋の大洋島には、火山多し。世界の火山は、太平洋、又は其周圍にあるもの最も多し。

地震

地震は、地層の陥落又は火山の破裂によりて起るものなり。地震の多き地方は、太平洋沿岸の火山地方一帶、亞細亞洲の西南部、歐羅巴洲の南部等なり。

東大陸の高原

高原 亞細亞洲の高原は、世界中にて最も高く、且つ最も大なり、其最も高きものは、西藏高原にして、一萬五千五百呎あり。亞非利加洲の高原は、殆んど全洲を掩ひ、其最も高きは、ナイル河の東方にして、六千呎、乃至七千呎あり。濠太利亞洲の高原は、較低し。

西大陸の高原

北亞米利加洲の重なる高原帯は、北氷洋岸より、中央亞米利加まで連れり。其最高部は、墨西哥高原にして、四千呎、乃至八千呎なり。南亞米利加の重なる高原帯は、西海岸に沿ふて延び、其最も高く、且つ最も廣き部分は、

ポリーヴィアの高原にして、海拔一萬二千呎以上に達せり。南亞米利加の東部に、低くして廣き高原あり。歐羅巴洲には、一も大高原なし。

東亞大陸の低

低原 亞細亞、歐羅巴二洲の大なる低原(第一地圖參照)は、其高原と北氷洋の海濱との間にあり。南北亞米利加洲の大低原は、高原と大西洋海岸との間にあり。澳大利ヤの低原は、其中央部と南部にあり。亞弗利加には、低原の大なるものなし。

文明國所在の平原

地味の最も肥沃なる地と、航河の最も長大なるものは、熱帶と温帶の低原にあり。故に世界の人口の大半、及び主なる文明國は、此等の低原にあり、即ち支那の低原、ガンジス河の低原、及び歐羅巴西部の低原は、人口最も密なり。又北亞米利加の人民の三分の一以上は、實に其中央平原に住せり。北氷洋に瀕する平原は、其面積大なりと雖、其氣候甚た寒くして、人口粗なり。

二 海河

太平洋 印度洋 大西洋

大洋 太平洋は、面積廣大にして、其大さは他の諸大洋の面積を合せたるものと、大抵同一なり。其特色は、島と海の數多きことなり。(第一地圖參照) 印度洋は、大西洋よりも甚た小にして、其特色は海と島の少きこと、颶風の數、起るとにあり。大西洋は、其大さ大抵太平洋の半にして、陸地に入り込む内海の多きこと、之に注ぐ大河の多きことは、其特色なり。

北氷洋 南氷洋

北氷洋は、諸大洋中にて最も小なり、大西洋の一部と看做して可ならん。南氷洋は、三大洋の南部を合せたるものなり。此大洋の特色は、寒氣の激しきこと、氷塊の多きことにより。

大洋は水源なり

河流 大洋は、陸地上の諸水の源なり、蓋し風と太陽熱との力により、蒸發氣常に海面より昇り、須臾も息む時なし、而して此蒸發氣は、一變して雲となり、再變して雨雪となりて、地上に下り、其一部は、直に流れて湖、河、細流となり、其他は地中に入り復ひ泉水となりて、涌き出づるなり。大河は、其源を臺地の雪山に發するもの多し。

湖

低原を流る、河川は、商賣の天然通路なり。殊に汽船の發明ありて以來は、急流も之に頼りて上るを得るに至れり。商賣上の交通は、水路の方、陸路よりも費少し。丘陵の起伏する地方には、河中所々に瀑布、或は急流あるを以て、船舶の航行を遮るることあるも、また其水力を以て、製造に用ひ、又は電氣を起して、用ゆるを得るなり。河流は季候によりて、或は汎濫し、爲めに農作等を害するとなきに非ざれども、土地を灌漑し、または沃土を持來りて、其流域の低地を肥やすの益あり。

亞細亞の鹹湖

湖沼 湖に、淡水湖、鹹湖の二種あり。鹹湖とは湖水の流出口なきものなり。河水、土地に含む少量の鹽分を無口湖に運ひ入れ、其水は次第に蒸發すれども、其鹽分は、湖中に殘積するなり。

亞米利加と亞弗利加の湖氷河

の兩河なり。南亞米利加のポリーヴィア高原に在るティティカカ湖は、大なる淡湖の中、其位置最も高くして、一萬三千呎あり。



氷河と氷山

三千呎あり。

氷河氷山 氷河とは、大河の如くなる氷の野なり、雪山中に積もり、其重さにて固まり、或は溶けて復た氷結したるものなり。

氷河は、年中降雪の息まざる高山の溪谷に生ずるものにして、其溪谷より降ると甚た遅々たり、一年僅に數十間に過ぎず。温帯の地方に於て、氷河の生ずるは、ヒマラヤとアルプスの如き、高山の最高部に在り。

氷山は、南北極地に生したる、氷河の大なる破片、海中に落ちて漂ふものなり。グリーンランド島の氷河は碎けて氷山となる、其數甚多し。斯る氷塊の大なるも

氷山

海流

のは、其八分の七は、水中に入るも、尙ほ海面を抜くと、三百呎以上なるもの少からず。氷山の最も大にして、最も多きは南氷洋にあり。

海流とは、大洋を流るる大なる水流なり。海流の大なるものは、互に接續して、大なる環形をなせり。

海流は、頗る深きものあり、或は長さ數千哩のものあり、世界の大河にても、大海流に比すれば、甚た小なり。

海流の原因と方向

抑も海流の起るは、主として風力によるものにして、其方向と速度は、種々の事情によりて變化す、其第一は、地球の自轉するに因り、第二は、熱帯の恒風に因り、第三は、陸地に衝突するに因るなり。海流には三種あり、赤道流、還流、極流これなり。

赤道流

赤道流とは、太平洋、印度洋、及大西洋にありて、赤道の邊を東より西に向て流るるものにして、海流の中、幅最も廣く、其長さ最も長し。

還流

還流の著名なるは、黒潮海流と灣海流なり。黒潮海流とは、太平洋の赤道流が、東印度群島に遮きられて、東北に向て曲り、日本の海岸を温めて、北亞米利加の西岸の方に向て流るるものなり、其詳細は本書日本の部に記せり。灣海流とは、大西洋の赤道流が、西印度諸島の間を経て、墨西哥灣に入り、再び大西洋に出て東北に向ひ、大洋を横きり、歐羅巴西部の氣候を和らげて、北氷洋に入るものなり。

極流

極流とは、極地方より赤道に向て流るる、寒流にして、日本近海の親潮寒流、リマン寒流は著名なり。太平洋の赤道流と、黒潮海流とに圍まるる、楕圓狀の一區域あり、海水の運動靜にして、海草此に集まる、之を

藻海

波浪と潮汐

藻海と稱す。大西洋の赤道流と、灣海流との間にも、亦同様の藻海あり。右の外、海水の運動あり、一は波浪と稱し、主として、風のために起るものなり。一は潮汐と云ひ、主として月の引力のために生ずるものにして、海岸の出入等のため、其高低遅速同じからず。

三 氣象

温度に差異を生ずる原因

温度は、第一緯度の高低に依りて變化す、低緯度の地方は、太陽の光を眞直くに受くるが故、甚だ熱けれど、高緯度の地方に於ては、然らず、太陽の光を、斜に受るを以て寒冷なり、是れ緯度に隨て五帶の區別ある所以なり。

寒帯年平均温度 (一) 六六
 温帯年平均温度 一〇〇
 熱帯年平均温度 二六六

又温度の相違は、水陸の分布によるなり、そは海水は、大に海濱諸國の氣候を和らげ、且つ赤道地方より來る暖流にて、沿岸を温むるなり、歐洲の西部、及日本島の如し。然れども、大洲の内地の如きは、此惠を受くると能はず。故に、大洋的氣候、大陸的氣候の區別あり。

同温線

同温線とは、一年、一季、或は、一月の間に於る、温度の平均、相同じき場所を連綴せる想像線なり。此線によりて、

地球上の温度の高低を觀るに、南半球の如き海洋多き處は、同温線大低緯度と並行すれども、海陸の交錯する、北半球に於ては、同温線甚しく曲り、東岸は西岸よりも温度低し、是れ殊に寒暖南海流の爲めなり。又地球上最も温度の高き地は、少しく北半球の方に偏せり、これ北半球は南半球よりも、陸地廣大にして、太陽の熱を受くると甚しければなり。

亞細亞	一月平均温度	八月平均温度	全年平均温度	歐羅巴	一月平均温度	八月平均温度	全年平均温度
長崎	五、六度	二七、〇度	一五、九度	ロンドン	四、二度	一七、一度	一〇、四度
東京	二、六度	二五、六度	一三、八度	パリ	三、三度	一八、一度	一〇、八度
釜山	二、二度	二三、七度	一一、九度	ベルリン	〇、一度	一七、九度	八、九度
ホムバイ	二、三、二度	二八、一度	二六、〇度	セントピータ	(一) 八、四度	一五、七度	三、五度
カルカッタ	一九、九度	二八、五度	二五、八度	亞非利加	一四、四度	二九、四度	二二、二度
浦羅斯德	(一) 二六、〇度	一九、八度	三、七度	カイロ	一四、四度	二九、四度	二二、二度
廣東	二二、七度	二七、八度	二一、〇度	喜望峯	一四、六度	二三、三度	一八、八度
上海	三、五度	二七、〇度	一五、二度	亞米利加	三、三度	一六、一度	一一、〇度
北京	(一) 三、一度	二八、一度	一一、七度	サンフランシスコ	九、八度	一六、二度	一一、五度
基隆	一四、四度	二七、九度	二一、六度	ニューヨルク	(一) 二、二度	二六、二度	一一、一度
新嘉坡	二五、九度	二七、一度	二六、五度	リウデヤイロ	二〇、三度	二六、一度	二二、一度
				ホノルル	二一、六度	二五、五度	二三、七度

表中(一)は零點下の印なり

上下温度の差

温度は、南北に從て増減するのみならず、上下に從ても増減するものにして、地面より空際に昇るに從ひ、温度次第に減少し、終に氷點に達するなり。此氷點の海面を去る距離は緯度の高下によりて異なり、又同所と雖、四季の變遷により、昇降すれども、要するに、赤道下に於て、其距離最も高く、凡一萬六千呎より、二萬呎に至り、之れより、南北に進むに從ひ、漸く低くなるなり。雲が此高さに昇れば、雪となる、故に此距離の上限を連綴する線を、雪線と稱す。我國の富士は、一萬二千餘尺なれども、未だ雪線に達せず。

風の起る原因

風 風即ち空氣の流動は、氣壓の不均より、起るものにして、常に高氣壓の所より、低氣壓の所に向ふなり。而して氣壓の變動は、温度の高低と水蒸氣の多少による、即ち熱帶地方は、水陸の面より蒸發する水蒸氣、甚た多きが故、氣壓一般に低く、寒帶地方は、空氣中に含む水蒸氣甚少きを以て、氣壓一般に増加するなり、故に寒帶の空氣は、赤道に向て下層を流れ、熱帶の空氣は上に騰りて上層の風となりて、極地に赴くなり。

貿易風

然れども風は地球の自轉するによりて、其方向稍、偏り、北半球に於ては、上層風は東北、下層風は西南に向ひ、南半球に於ては、上層風は、東南、下層風は、西北に向ふなり。而して寒地より來る下層風は、熱帶に於て、其勢力強く、大に航海に便なるを以て、之を貿易風と名づく。赤道近傍は南北より吹く貿易風、衝突して、空際に昇るが故、無風となる、之を無風帯と稱す。

季候風の原因

凡そ風の向は大體此の如しと雖、水陸の配置と、季節の寒暖によりて、温度と水蒸氣増減するがため、風の向を變せしむるとあり。故に、貿易風は、大洋に於ては其勢力強しと雖、大陸の内地、又は沿海に於ては、其形跡明な

各地方の季候風

らず、或は全く反對の風となることあり、之を季候風と稱す。

夏太陽赤道の北に在るときは、北大陸の中部は、大に熱を受け、中央亞細亞の高原、歐羅巴の東部、及亞弗利加の東北部に、大なる低氣壓を生じ、四方の空氣、此中心に向て流動す。之に反して、冬は太陽赤道の南に在りて、中央亞細亞高原は、大に冷へ氣壓高くなり、四方に向て風を放流するなり。日本に於て、冬は北風又は西北風多く、夏は南風又は東南風多きは、此理によるなり。

陸風と海風

海岸に於ては、海陸の温度同じからぬより、日々反對の風を生ず、之を海風、陸風と稱す。晝は陸の空氣、海の空氣よりも暖なるを以て、陸の空氣は昇り、海の涼風陸地に向て流る、即ち海風なり。然るに夜になれば、海の空氣は陸の空氣よりも暖にして、多く上に昇り、陸の空氣海に向て流る即ち陸風なり。季候風も、一種の海陸風に外ならず。

颶風

高氣壓の中間に、低氣壓を生じ、其差甚しく、且つ其兩地接近するときはその高氣壓の空氣は忽ち激しく運動し、低氣壓の處に向て急に流る、是れ即ち颶風にして、日本、支那の大風、西印度のハリケン、等は皆此類の風なり。

雨の由來

雨雪 水蒸氣、常に海陸より騰りて、空氣と混和し、冷かなる山岳、又は寒風に觸るれば、忽ち凝りて雲となり、又雨或は雪となりて、地上に降るなり、約言すれば、雨雪は水蒸氣の多少と、實際の種々なる事因によりて増減するなり。

雨は極地に進

赤道地方は、氣候熱くして、水蒸氣の勝ると多きを以て、霖雨屢降るなり。然れども、南北に進むに從ひ、水蒸

むに從て減す

氣の量次第に減じ、從て雨量も亦減す。又概して、舊世界は、新世界よりも雨量少し。緯度の高低により、雨量の増減すると、大約左表の如し。

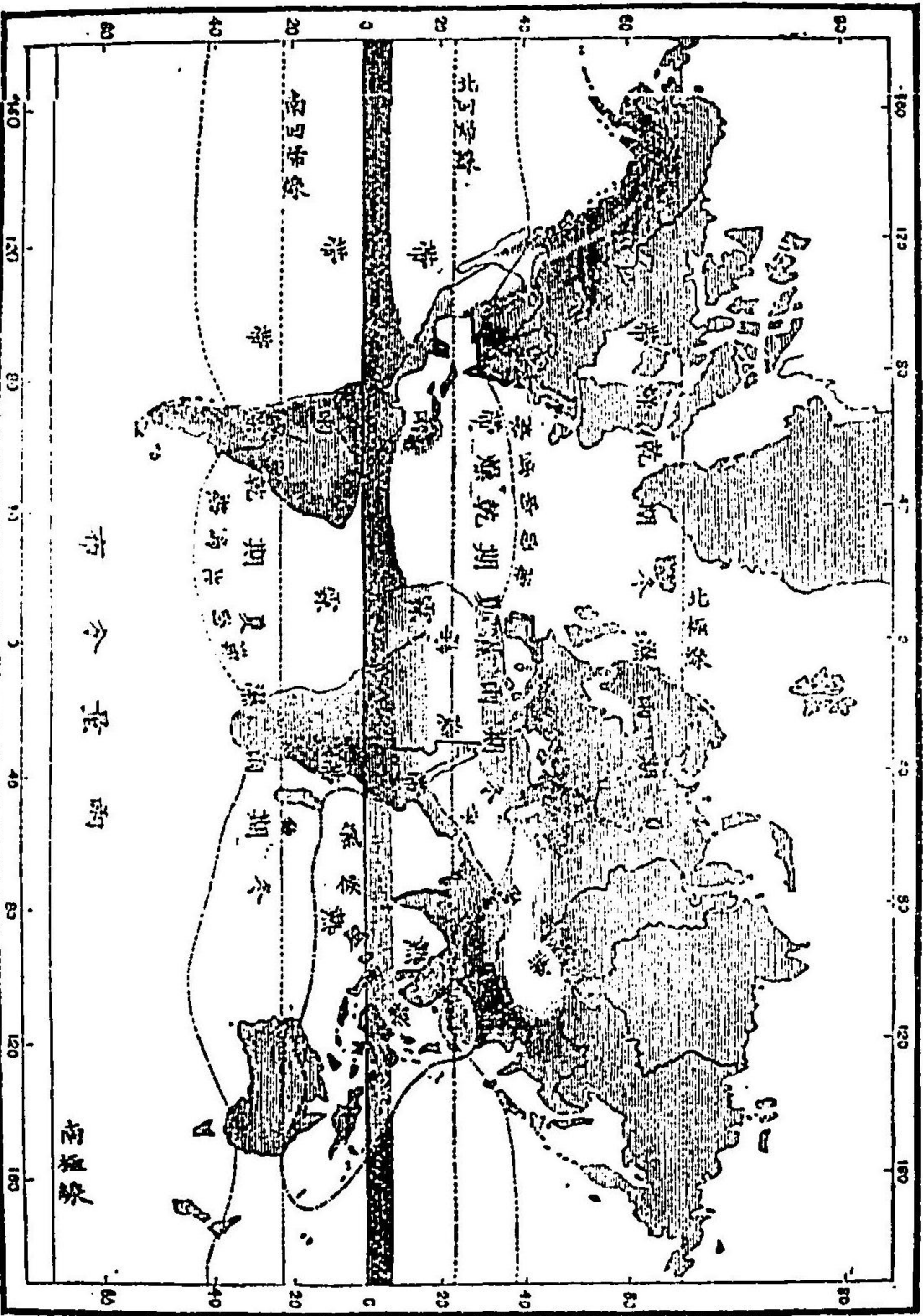
緯度	年平均雨量耗(ミリメ)
零度(赤道)	二五〇〇
二十度	二〇〇〇
三十度	一五〇〇
四十度	一〇〇〇
五十度	七五〇
六十度	五〇〇
七十度	二五〇
八十度	一二五

印度の雨 山脈と雨

印度は、夏、西南季候風、印度洋の水蒸氣を運び來りて、雨りすと多し、我國の夏の雨も、亦此類の原因によるなり。之に反して、十一、十二月には、北の山地より、寒く燥きたる東北季候風吹き來るが故、天氣晴朗なり。ヒマラヤ山脈は、西南季候風を迎へ、アンデス山脈は、東南貿易風を受け、其風に合ひ水蒸氣を凝縮して、雨となすを以て、其下風の諸國は、殆んど無雨の地となるなり、戈壁、白晝(但智利に於ては西風多き故に雨少からず)の如き是れなり、本邦内海の周圍の如きも、此一例とすべし。

最濕地 最乾地

要するに、世界中雨量の最多きは、赤道の無風帶と、濕風の山に衝突て、高く登る地なり、即ちベンガル灣底のアッサムに於ては、毎年雨量凡一萬四千耗(五百六十吋)に達し、智利に於ては、二千九百耗(百十六吋)に及ぶなり、最も乾燥なるは、戈壁の沙漠より、西南に向ひ、波斯、亞拉比亞、埃及、サハラ沙漠に至る、廣大の土地と亞弗利加南部のカラハリ沙漠、北米大鹽湖地方なり。(雨量分布圖參照)



雪

氣温氷點以下に至れば、空中の濕氣は凝りて、雪となりて、地上に降るなり。然れども、雪の量は兩極地方に最も多しと思ふは誤なり、何となれば、高緯度の地は、空中の濕氣少ければなり。雪の最も多きは、温帶中の寒冷なる地方とす、我國の北陸地方の如き是れなり。

四 生物、礦物

生物

生物 凡そ、生物の生存するは、光と、水と、食物に依るものなれば、土地の寒暖、乾濕等により、生物、或は榮へ、或は衰ふるなり。熱帶地方の生物は、之を温帶に移せば、則ち衰死すべし。赤道地方は水熱最も多きが故、其生物は温帶に比すれば、其體格強大にして、美麗に、且つ其數多し、而して温帶は、また寒帶に優れり、是れ生物の通則なり。去れば、熱帶、温帶、寒帶の三地方は、生物の種類相異なれり。

生物の分布

今各地方の生物の分布を觀るに、熱帶の植物には、棕櫚、榕樹、羊齒、其他奇異なるものあり。其動物には、象、犀、河馬、獅子、虎、駝鳥、鱷等あり。温帶には、松、柏、樺、楓、棉、茶、烟草、麥、等及牛、馬、羊、鹿、狼、鷹、鷲、雉等の生物あり。寒帶には、矮樺、赤楊、水楊、矮草、蘚苔等並に麝牛、白熊、海豹等あり。五帶地方の生物は、大略左に掲ぐる圖の如し。

生物分布の理由

然れども、各地方生物の播布は獨り寒暖、氣候のみによりて、異なるものに非ず、又山脈、高低、地質、海洋、海流等に因りて異れり。例せば、東大陸と西大陸の間に、二大洋あるが爲め、兩大陸の生物は、大に異れり、濠太利亞

生物帶

は洋中に孤立するを以て、其動植物、一種の異觀あり、又ヒマラヤ山脈と、ロッキーマン脈は、其兩側の交通を妨ぐるのみならず、或は、雨風の度量を變じ、或は寒暖の差等を生じ、以て生物の分布を割せり(各大洲總論に掲げたる生物圖を参照すべし)。故に生物の種類に隨て、其帶を區別すると左の如し。

- 第一、舊北帶(歐羅巴全洲、亞弗利加ツハラ以北、亞細亞ヒマラヤ以北の地を含む)
- 第二、東洋帶(亞細亞ヒマラヤ以南の地、及近傍島嶼)
- 第三、亞弗利加帶(亞弗利加ツハラ以南の地、及マダガスカル島)



五帶の植物概畧

礦物



五帶動物概界

- 第四、濠太利亞帶(濠太利亞、ニュージールランド、ニューギニー)
- 第五、新北帶(中央亞米利加を除き、北亞米利加全體)
- 第六、新熱地帶(中央亞米利加、及南亞米利加)

礦物 礦物の分布は、生物の如く或る帶中に限らず、廣く各地に散在せり、而して其種類と多寡は各地同じからず。今日の文明世界に於て、最も貴重なる礦物は、金銀にあらずして、鐵と石炭なり、何となれば此二礦物は實に商工業の根本にして、之を使用するの多寡は國の文明と貧富を測るの標準とすべし。左に重要なる礦物の生産地を掲ぐ。

地 礦物産

黄	金	濠太利亞、北米合衆國、魯西亞	亞	鉛	日耳曼
銀	南亞米利加、墨西哥	白	銀	魯西亞(ツラル山)	
鐵	英吉利、北米合衆國、佛蘭西、日耳曼	ニッケル	ニューカレドニア、北米合衆國、那威		
銅	北米合衆國、西班牙、智利、日耳曼、濠太利亞、日本	石	炭	英吉利、北米合衆國、日耳曼、佛蘭西、白耳義、匈牙利、魯西亞、濠太利亞、加奈太、印度、西班牙、日本	
錫	東印度、馬來半島、英吉利、濠太利亞	石	油	合衆國(ペンシルバニア)、魯西亞(高加索)	
水	銀	西班牙、北米カリフォルニア	金剛石	ブラジル、南亞弗利加(ケープコロニー)	

第三章 人文地理學

一 人種

人種の區別

地球上住民の数は、凡十四億八千萬なり、之を大別して黄種統、白種統、黒種統の三種統となす、而して各種統の中、更に種族の區別あり、其重なるものは左表の如し。

- 黄種統 蒙古種族、馬來種族、エスキモー種族、インディアン種族、
- 白種統 テュートニック種族、高加索種族、羅馬種族、セミティック種族、ハミティック種族、亞細亞種族、

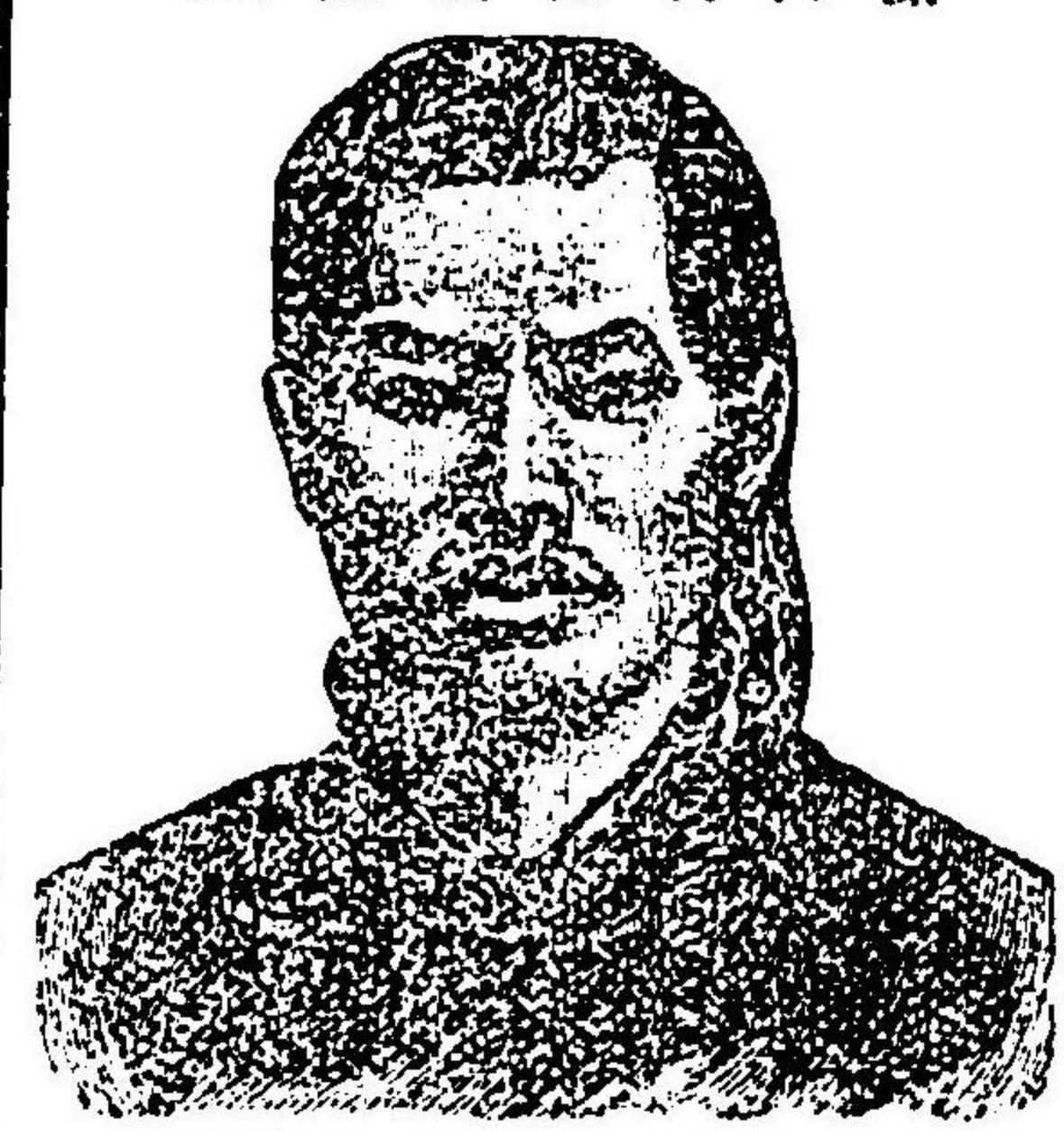
黒種統 ニグロ種族 ブッシユメン種族、濠太利亞種族、メラネシア種族



(黒)族種亞利太濠



(黒)族種ンメシツア



(黄)人那支族種古蒙



(黄)人哇布族種來馬



(白)族種クツニトレテ



(黄)族種ンアアンイ

各人種
の多寡

斯く人種の差異を生せしは、各地の氣候、食物、職業、其他の事情によるなり。然れども、異人種相結婚するを以て、雜種に屬するもの亦少からず。三種統中、最も多きは黃種統にして、之に次くは白種統なり。此二種統を合すれば、凡全人類の七分の六を占めたり。

二 言語

言語
重なる
國語

言語は、人種によりて同じからず。國語の重なるもの、八十種に下らず、各地の方言を算すれば、三千五百有餘ありといふ。今日一千万以上の人民が用ゆる重要な國語は、支那語(四億人)、印度語(二億人)、英吉利語(一億人)、魯西亞語(一億人)、獨逸語(六千万人)、西班牙語(四千八百万人)、佛蘭西語(四千六百万人)、日本語(四千万人)、等とす。

特別の
用語

右の數國語中、東西諸國にて、多く商業上に用ゆる者は、英吉利語にして、列國交際上には、大抵佛語を用ゆるの習慣なり。又萬國にて用ゆる文字は數百種あるべし。

三 宗教

宗教

世界の文明國と野蠻部落に於て、信する宗教の種類は、其數舉て算すべからず。現今廣く行はるゝ宗教は、左の六教なり。

婆羅門教
佛教
儒教

婆羅門教は、重に印度に行はれ、信徒二億五千萬あり。佛教は、婆羅門教より出づ、錫蘭後印度、支那、西比利亞、日本、等に行はる、信者三億七千餘萬あり。儒教は、支那、日本、朝鮮に行はる、或は之を、宗教中に算せざるものあり。

猶太教
基督教
回教

猶太教は、猶太人、尙之を奉ずれども、其信徒四方に散布す、其數凡七八百萬あり。基督教は、希臘教、羅馬教、及新教の三派あり、歐羅巴、亞米利加に行はる、信徒凡三億二千五百萬あり。回教は、土耳其、亞拉比亞、波斯、東印度諸島、及亞弗利加、等に行はる、信徒凡二億あり。

四 需用品、生業

需用品

人の需用品數多しと雖、最も大切の者は、衣食住の三なり。是れは、勿論社會の文野、氣候の寒暖、等に從て各國多少の差別あり。

食物
衣服
家屋

飲食物は、動物、植物、及無機物の三種にして、熱地にては主に菜蔬を食ひ、寒地にては肉類を主とし、暖地にては肉類と菜蔬を併用す。衣服も寒地にては、獸皮、或は毛布を着し、熱國にては、麻布を用ひ、其他寬濶の衣、窄袖の服を被るが如き、各地一様ならず。住居も、熱地にては草屋を構へ、寒國にては堅固の家を建て、又人民の文野、貧富に隨て、其大小、精粗の差あり。

生業

生業は、衣、食、住、等の需用より起るを以て、野蠻社會には、生業の種類少く、且一人にて數業を兼ねれども、

文明に進むに隨ひ、職業の種類増加し、且つ分業行はるゝに至る。其種類は、農業、林業、獵業、漁業、鑛業、工業、商業、運輸業、其他學藝、宗教、政事等に關する職業とす。然れども同一の業務にても、社會の進度によりて、之を營むの方法、大に異なるものなり。

五 社會

社會の
状態

社會の狀態より、人類を大別して、野蠻、未開、半開、及開化の四種となす。野蠻とは、漂泊種族の最も低き生活を云ふ。中央亞弗利加、ニューギニー、濠太利亞の土人の如き野蠻人は、各所に漂泊し、獸獵、又は漁業をなし、大抵樹木の洞、土穴、又は茅舎に住ひ、常に裸體にして、其性質、多くは殘忍にして、文字なく、常に争鬪を事とす。然れども同類の中、自から酋長ある者あり。

野蠻

未開の民は、帳幕、或は粗造の家屋に住居し、又は牧草を逐ふて移轉す。漁業、耕作、牧畜を務め、或は工業、貿易を事とする者あれども、器械之しく、書を讀み得る者少し。多くは族長政治に服し、屢、壓制を受け法制の觀るべき者なし。韃靼人、亞拉比亞人、亞弗利加の某種族の如き是なり。

未開の
民

半開の民は、農工商等の業大に開け、一國社會を成す者とす。支那、波斯、土耳其、等の如き是なり。然れども其習俗は、皆古を貴び、更に進歩を希はず、君主政府専ら政權を握り、國民は之に參與するを得ず。

半開の
民

開化の民は、德義、禮讓を尙び、自由、進歩を重んじ、學術、技藝に篤く、農商百工の業盛にして、國人富強なり。

開化の
民

且内外貿易の道、東西交通の法大に開け、千里も近隣の如し、日本、歐洲諸國、及亞米利加合衆國の如きを云ふ。

六 交通

凡そ交通の方便、數多しと雖、其最も必要なる者は、陸路、水路、鐵道、郵便、及電信なり。

陸路 陸路の險易遠近は、大に交通の利害に關するなり。通例道路を區別して、國道、縣道、里道の三階級となす。水路と陸路の便否を較ぶれば、各利害あれども、概して水路の方便利なり、是れ古來沿水地方の、先づ繁昌する所以なり。

水路 水路とは、水上の通路にして、河湖、海路の別あり、河湖は、今之を川路と總稱すべし。河川、湖沼は、天然の交通路にして、支那の揚子江、北米のミスシッピーの如き大河は、海口より數百哩の内地に大船を通ずるを得べく、又亞米利加の大湖の如き、亞細亞の裏海の如き、大に沿岸の交通に便なり。又運河も物品の運搬に必要にして、スエヅ運河、支那の大運河の如きは最も著名なり。

海路 海路は、一國の沿岸并に各國間の交通、貿易に最も必要なり、一に之を航路と云ふ。今や帆船に代ふるに、汽船を以てし、且つ航路の要所に燈臺、浮標、霧鐘、等の標識を設け、以て船舶の航通に便せり。是を以て、内外各地の交通、日に隆盛の運に向へり。

重要航路里程

横濱より	一五七五	バンクヱア(加奈大)	四三二〇
香港	四五六二	シドニー(澳大利亞)	四六一四
カルカッタ(印度)	六七〇〇	嘉新坡(馬來半島)	三〇〇〇
アーデン(亞拉比亞)	九二四七	孟買(印度)	五四七〇
チーアルス(以太利)	三四四〇	コンスタンティノープル	八九二一
布哇	九一八	マルセール(佛蘭西)	九六三七
浦湖斯德(西比利亞)	二四〇〇	セントピータースバルグ(魯西亞)	一二七三八
柴根(安南)	四五九〇	メルボーン(澳大利亞)	四九九〇
錫蘭(印度)	四五〇〇		
サンフランシスコ(米國)	四六九		
長崎より	一六四		
上海	一六四	仁川	四五五
釜山	五八〇	天津	八二〇
芝罘		元山	四六〇

鐵道

鐵道 鐵道は、文明世界に於て最も必要の交通具なり。鐵道敷設の最も盛なるは、歐米諸國にして、東西南北各地を結合せり。北亞米利加には、東西の海岸を接続する太平洋鐵道數條あり。亞細亞には、日本、印度、及西比利亞等に數線あり。左に各大洲に於る鐵道延長の哩數を掲ぐ。

亞細亞	線路延長	二〇、七〇〇哩
亞弗利加	同	六、八〇〇哩
歐羅巴	同	一三九、〇〇〇哩
亞米利加	同	二〇〇、〇〇〇哩
濠太利亞	同	一一、〇〇〇哩

郵便 凡郵便の効用は、送達の速にして、區域の廣きにあるを以て、歐米諸國は、夙に郵便聯合の事を計り、瑞西國を以て、同盟事務を取扱ふ中央部と定めたり、我日本も明治十年、此聯合に加盟せり。今此聯合に加盟するものは、諸國の殖民地を合して八十餘國とす。

電信 遠近に拘はらず、能く瞬間の用を便するものは、電信なり。故に電信の發明あるや、各國争ふて之を架設し、次て又海底電線を敷設し、次て郵便と同じく、萬國聯合して、瑞西國に其事務所を設けたり。現今萬國電信聯合に加盟せし國、總て四十一、日本亦此中にあり。電信の外に電話の發明あり、文明諸國の都會大抵電話の設なきはなし。

七 政體

政體の區別

地球上の各國は、各其建國の模倣同じからず、政治の方法も同じからず。之を細に區別すれば、千種萬様にし

て、一も同じき者なしと雖、現今専ら行はるゝ者は、君主政と、民主政なり。

民主政とは、國民の選舉したる代議士の政治にして、政府の長官は通常大統領と稱す。新世界の國々、並に舊世界の佛蘭西、瑞西、等の政治の如きは是れなり。

君主政とは、政權を一人の手裡に握る者にして、政府と臣民との間に、判然たる區別あり。今之を大別して專制君主政、立憲君主政の二となす。支那、魯西亞、土耳其の如きは專制君主政なり。立憲君主政とは、英吉利、日本の如き政治なり、(日本も一種の立憲君主國なれども、他邦とは其趣を異にせり、詳細は日本の部に詳なり)要するに舊世界の國々は、大抵君主政國なり。

君主政國等の名稱 君主政の國を呼ぶに、種々の名稱を以てす、皇帝の支配する國を帝國と稱し、王の統御する國を王國と稱し、而して其君主に世襲と撰任との二種あり。民主政國の大統領は、大抵人民中より撰舉し、之に爲政の權を掌握せしむ、其在職期限に長短あり。民主國は今日通常共和政國と稱す。

八 國勢

文明國

文明國 此世界に國を建つる者の中、幾分か體面を具ふる國々(獨立國と屬邦を問はず)は、凡五十五個國あり、其中に就き文明國と稱すべきもの、果して幾許ありや、之を決定すると容易ならざるを以て、今姑らく各國の大勢上より、之を畧定すべし。

亞細亞に於ては、我國の外文明國と稱すべきものなきが如し、支那、波斯の如きも、一種の文化發達したるものなきに非らずと雖、之を今日の文明に照らせば、猶は半開國と見做さざるを得ず。歐羅巴は亞細亞と異なり、文明富強の國々少からず、彼の英吉利、佛蘭西、日耳曼、埃地利、以太利、和蘭、白耳義、瑞西、魯西亞、等の如き、其間に多少の優劣あるも、之を亞細亞諸國に比すれば、其國運の進歩せると明白なり。

亞弗利加及濠太利亞は、多くは、歐洲諸國の屬邦、又は、領土にして、國の面目を有つもの甚稀なり。南北亞米利加に在りては、合衆國と加奈太の二部は、文明を以て稱すべしと雖、其他の諸國は、尙大抵半開の位置に在るものと云ふべし。

大國

大國 領土の總面積、二百萬方哩以上の國々は世界中に八個あり。左に其面積並に人口の大體を掲ぐ。

英吉利帝國	一一三三四 ^{方哩}	三八三、四八八 ^人	(2)
魯西亞帝國	八、六六〇 ^{方哩}	一、二三、〇九一 ^人	(3)
支那帝國	四、二一八 ^{方哩}	四〇二、六八〇 ^人	(1)
北米合衆國	三、五〇一 ^{方哩}	六二、六二二 ^人	(5)
ブラジル共和國	三、二〇九 ^{方哩}	一六、三三〇 ^人	
佛蘭西共和國	二、八〇四 ^{方哩}	八〇、四六六 ^人	(4)
アルゼンタイン共和國	一、七七八 ^{方哩}	三、九五二 ^人	

人口多き國々

土耳其帝國 一、二四七^{方哩} 二七、六九四^人

又三千萬以上の人口を有する國々を算するに、右所掲中の五國の外、日耳曼(五三、二九九、〇〇〇人⁽⁶⁾)、日本(四四、三二〇、〇〇〇人⁽⁷⁾)、埃地利(四一、三五〇、〇〇〇人⁽⁸⁾)、以太利(三一、一〇〇、〇〇〇人⁽⁹⁾)の四國とす、而して我日本國は人口に於ては、世界の列國中第七に位せり、羅馬數字は三千萬以上の人口を有する國々の人口の多寡の順序を示す。

大都府 百萬以上の人口有る都府は、世界中に凡十一個あり、其中三個は、北米合衆國に、二個は支那にあり。

ロンドン市	(英吉利)	四、四二一 ^人
パリ市	(佛蘭西)	二、五三六 ^人
ニューヨーク市	(合衆國)	一、五〇〇 ^人
廣東市	(支那)	一、六〇〇 ^人
ベルリン市	(日耳曼)	一、六七〇 ^人
東京市	(日本)	一、三七〇 ^人
ヴィエンナ市	(埃地利)	一、三六〇 ^人
シカゴ市	(合衆國)	一、〇九〇 ^人

百萬未
滿の大
都府

ファイラデルフィア市(合衆國)……………一、〇四〇、人
セント、ピーターズバーグ市(魯西亞)……………一、〇三〇、人
北京市 (支那)……………一、〇〇〇、人

此外、世界各國の都府にして、(一)人口九十五萬以下五十萬以上の者二十一個、(二)五十萬以下三十萬以上の者二十七個、(三)三十萬以下二十萬以上の者四十四個、(四)二十萬以下十萬以上の者凡百二十二なり。

中外地理學

外國之部終

明治三十一年三月一日印刷
明治三十一年三月五日發行

中外地理學外國之部
附屬地圖一冊
實價金七拾五錢

著者 松島剛

東京市日本橋區通四丁目五番地

發行者 和田篤太郎

東京市京橋區築地三丁目十五番地

印刷者 根岸高光

東京市日本橋區通四丁目五番地

發行所 春陽堂

(電話本局五十一番)

東京市京橋區築地三丁目十五番地

印刷所 帝國印刷株式會社



版權所有



松島 日本地文全圖 新案掛幅製 定價二圓五十錢

本圖は六尺四方大の掛圖にして地文教授上の便益は勿論日本全圖の形を有りの儘に見入るには最も適切なものなり火山脈海流土地の高低航路より山脈河海の長短深淺等荷くも網羅せしむる事なし特に時計の圖を設けて時差を説明す

松島 内外地圖集覽 全三冊 郵稅六錢

〔日本之部〕地圖十九枚
〔外國之部〕地圖十七枚
巽に遠東半島を増補し又諸種の統計を改正したり其簡明精細なる本書の如きは蓋し稀なり

松島 小學地圖集覽 全二冊 郵稅六錢

〔日本之部〕地圖十二枚
〔外國之部〕地圖七枚
此圖は小學兒童の爲に出版したるものにして力めて兒童の視力を害せざる様注意し且つ地圖に必須の要件は大抵具備せり徒らに無用の山川地名を排列するものとは自ら其撰を異にせり

松島 内外新地圖 日本 全二冊 郵稅各四錢

本圖は同一の比例尺を用ひ地圖の高低を彩色にて著し市町の人口は數種の記號を設け又火山脈山脈圖を設け海深をも示したり

松島 萬國史要 文部省檢定済 實價金壹圓

本書は譯文の程當平易なるは勿論原本を讀むの餘餘として最も便益なる事は大方諸君子の當く知る處誠に洋學者座右の重寶といふべし

松島 中學日本歴史 全二冊 郵稅各十錢

從來の歴史が治亂興廢の戰國史英雄豪傑の史傳たるの偏僻にならば學問宗教技術實業の點にも深く注意し且つ地圖を挿入して學者に便にせり

松島 中學東洋歴史 實價七十錢

東洋史流に關係するものは舉げて網羅せしむる事なし特に朝鮮支那印度暹羅等近隣諸邦の記述は尤も精細なり

松島 中學西洋歴史 實價七十錢

本書は前新の史眼を以て巧みに料理し事項の變換毎に節を立てたれば教授上の便利は日本歴史東洋歴史と同一なり

三輪理新編代數學 全二冊 文部省檢定済 實價八十錢
著者多年問諸學校教授の實験に徴し中等教育教科用として編述したるものなり其配列の順序説明の方法等は専ら著者の新案により發兌以來日尙淺しといへども已に各府縣十數校の採用を辱うす今や増補訂正を加へ巻末に和英對譯を付したり

松島 英文青山叢書 第一卷 實價卅五錢

中學教程の用書にして本書にはラスキン、クライブ、ウイリアム、スタンレー、太田秀吉の竹俣龍事和蘭陀市羅馬建築圖古畫等のアートタイプ版を挿入せり

松島 英文叢書 實價卅六錢

〔レイドク ロック〕
中島 中學日本文典 實價六十錢

本書は中學程度を主として専ら普通文の上は應用せらるゝを基とせり原來從來の文典はその説明の方法こそ異なれ大抵大同小異なり然るに此文典は從來の動つすべからざる理法に今日に應用せられて千古換はらざる理法をも加へ全く一の面目を開きたるものといふべし讀者乞ふ鑑識を玉へ

松島 歷史叢談 全二冊 郵稅各八錢

〔繪修身畫談〕 全二冊 郵稅各八錢

松島 下田歌子修身畫解 全四冊 郵稅各八錢

〔山中學 衣服裁縫案內〕 全二冊 郵稅各四錢

東京活用字典 上製二十五錢 並製二十錢

中島 書翰文典 近刊

松島 中外地理 日本之部 實價各七十五錢 外國之部 金七十五錢

中島 中學普通文典 實價五十錢

〔幹事〕 實價八十錢

〔國三〕 實價卅六錢

〔漢三〕 實價卅六錢

〔三漢〕 實價卅六錢

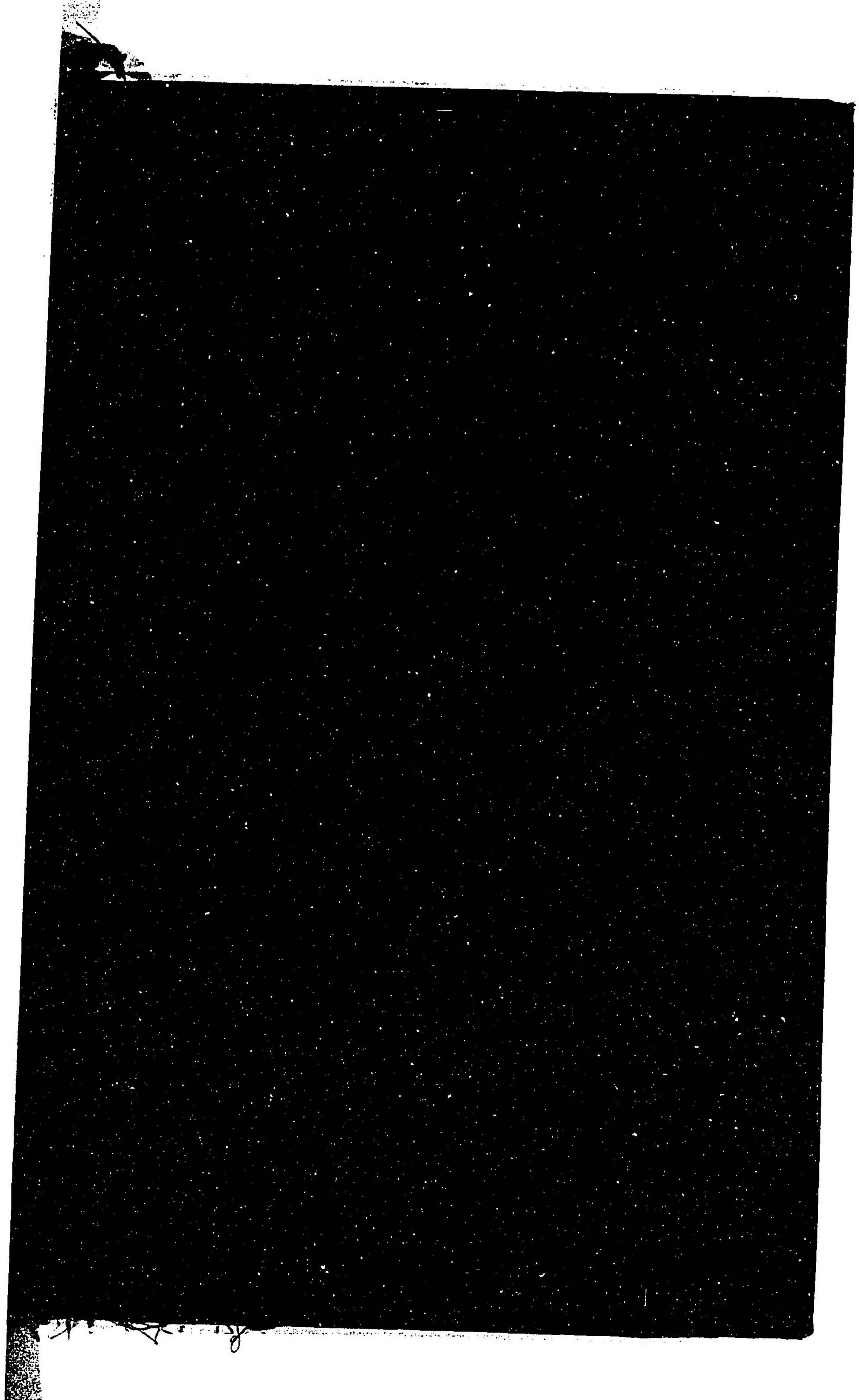
〔三漢〕 實價卅六錢

〔三漢〕 實價卅六錢

〔三漢〕 實價卅六錢

〔三漢〕 實價卅六錢

發行書肆 東京日本橋 春陽堂



77
159